

GRIT (Global Research and Inquiry Time)

1 2016年度 GRIT 概要

2014年度に SGHA として採択されてから、登校する土曜日を利用し、総合学習 GRIT の授業を行っている。GRIT では、関西創価高校の SGH テーマ「環境・開発・人権・平和」の4分野についての基礎知識をビデオやプリントで学び、フィールドワーク、体験学習を行ってきた。GRIT は全員が4分野について学ぶ、本校の SGH プログラムの根幹となるものである。

2016年度は2015年度までの流れを見直し、3学年別々の授業を構成した。

1年生では、「環境・開発・人権・平和」の4分野について、概要と体験型授業をもとにグローバル 이슈を体感できるようにした。2年生で発表を行うために、4分野すべてを一度学習しておいた方がよいとのことで、変更を行った。

2年生は、1年生のときに「環境・開発」2分野の学習をしたので、残りの「人権・平和」についての学習を行った。また、6月に行われる創価大学での研修において、4分野に関する研究発表を各分野の専門の教授の前で行った。これは2015年度よりはじめてのものである。今年度はさらに、その研究を年間通したものとし、2月に保護者に向けて発表会を行うこととした。その発表をよりよいものとするために、大学院生に2度アドバイスをいただいたり、クラスをシャッフルした発表を行ったりした。

3年生では、今まで学んだことを利用し、全クラスを92ヶ国に分け、模擬国連の形式で交渉を行い、農業問題に対する解決案を考案しまとめた。そして、その内容を一人一人が論文にし、英語でサマリーを書いた。

今回の報告書では2016年度に新たに作成した授業・内容を変更した授業を中心に報告する。

2 GRIT 授業までの流れ

GRIT は土曜日に全学年同時に開催する。そのため、授業の担当は担任もしくは学年担当の教員が行う。授業考案者や専門の教員が実施するのではないので、準備に時間をかけている。

流れは、授業内容を考案した教員が SGH 委員会に諮り、そこで意見を得て修正を行い、その後職員会議（学年ごとに内容が違ふときには週1回行われる学年会）で、授業実施をする教員に説明し、質問を受けた。その際、授業の内容をまとめ、流れがわかるような指導案も作成した。

その指導案の中で授業を行う中で、担当者がこうしたらいいのではないかと改良をし、フィードバックをすることにより、よりよい授業になっていっている。

3 GRIT リーダー

GRIT の授業において、フィールドワーク、ディスカッション、体験学習などを行う際には、授業担当者の教員のみではなく、生徒に進行役をさせることがある。この役割を担うのが GRIT リーダーと呼ばれるメンバーである。GRIT リーダーが必要な授業の前に、クラスで募集をし、事前に授業内容に関する研修を受け、生徒が進行を行う。

4 プレゼンテーション

1・2年生は3学期の GRIT で、1年間で学んだことの中からテーマを選び、内容を深め、6名程度のグループで発表を行った。この活動は SGH として GRIT を行う前から、総合学習で学んだ内容

をまとめて発表をしていた内容であり、2014年度より GRIT で学んだことを発表するようにしている。

1年生はパソコンをつかわず、2年生ではパソコンを使った発表を行った。特に2年生は6月に行っている創価大学での研修の際に、1年生で学んだ GRIT の内容をいかし、グループで調査をし、大学の教員の前で発表を行い、質疑応答、コメントをいただくなどし、内容を深めた。

また、関西の大学院生も各クラス1名以上来校してもらい、内容に関してアドバイスをもらうようにした。

2月末の土曜日に保護者に来校していただいて、各クラスで1グループあたり10分の発表を行った。また、2年生の4分野それぞれの優秀グループは、2月に行った「2016年度 SGH 最終報告会」で発表を行った。

5 GRIT 授業内容詳細

5.1 1年生 テーマ：「環境」「開発」「人権」「平和」概要

日付	回	テーマ	詳細
2016/4/16	1	ガイダンス	ガイダンス
4/30	2	環境	環境概要講座
	3	環境	校内フィールドワーク
5/28	4	環境	ホテル復活プロジェクト
	5	環境	アースカムプロジェクト体験
6/4	6	開発	世界が50人の村だったら
	7	開発	SDGs
6/25	8	開発	貿易ゲーム
	9	開発	貿易ゲーム
7/19	10	フィールドワーク	インタビュー講座
	11	フィールドワーク	テーマ決め
9/10	12	フィールドワーク	国内フィールドワーク報告
	13	フィールドワーク	インタビューポスター発表
10/8	14	人権	世界の人権問題
	15	人権	人権問題ポスターツアー
10/29	16	人権	いじめといじりディベート
	17	人権	いじめといじりディベート
11/5	18	平和	現在の内戦ビデオ
11/19	19	平和	被爆体験朗読会
	20	平和	核兵器の現在
12/17	21	平和	平和のためにできること
	22	プレゼンテーション	プレゼンテーション立ち上げ
2017/1/14	23	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	24	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	25	プレゼンテーション	プレゼンテーション
1/21	26	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	27	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	28	プレゼンテーション	プレゼンテーション
2/4	29	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	30	プレゼンテーション	プレゼンテーション
2/18	31	プレゼンテーション	プレゼンテーション
	32	プレゼンテーション	発表
	33	プレゼンテーション	発表

SGH 校に採択されたことを受け、関西創価高校の SGH 構想の説明と、GRIT の意義、4 テーマの概略を放送システムで説明した。1 年生にはこれからの 3 年間で学ぶこと、2・3 年生には改めて GRIT を学ぶ意味を説明し、考える時間とした。

○GRIT 生徒用プリント：GRIT ガイダンス説明

関西創価高校の1年生のみなさま、入学おめでとうございます。SGHの生徒の一員として、グローバルリーダー目指して、学園全体で頑張っていきたいと思います。

そもそも「SGH (Super Global High school)」とは、文部科学省が募集している「将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に関する教育課程等の研究開発を行う高等学校」(引用) のことです。そこに、関西創価高校が応募し、認められたものです。

1600 年前に日本に技術を伝えた渡来人が住み着いたとされる交野より、世界へ飛び立ち、地球的課題の解決に果敢に挑み、世界の平和に貢献するグローバルリーダーを育成することを目的としています。

○使命感 ○共感力 ○問題解決への創造力 です。

○環境 ○開発 ○人権 ○平和 です。

4テーマを学ぶ方法が3つ OGRIT OSP OLearning Cluster です。

1. GRIT：全員で土曜日に学ぶ総合学習。（詳しくは別紙 GRIT ガイダンスと予定表参照）
2. SP：大学の先生方による地球的課題に関する授業である UP（希望者）（21日放課後に説明会）と、英語・数学の放課後授業（20日放課後に説明会）
3. Learning Cluster：2・3年生の選抜メンバーによるオールイングリッシュの特別講座（1年生で2・3年になって入りたいと希望する人は20日の説明会にいらしてください）

○SGH 校の関西創価高校で、この1年、自分が取り組んでいこうと思う内容を書き残しておこう！

年 組 名前：

あらたに 2016 年度に作成した講座。環境クイズを行った後、セヴァン・スズキさんのスピーチを視聴。自分たちがもっとも大切だと思う環境問題への対策法を考えた。

○GRIT 用 PowerPoint：環境入門（抜粋）

GRIT「環境」入門
人・自然・宇宙のつながりと
私たちの生活

ケニアのことわざ

「地球を大切にしない。
それは、親からもらったのではなく、
子どもたちから借りているものだから」

環境問題とは

「人間の健康や生存に直接関わる問題」

- みなさんが知っている環境問題はどんなものがありますか（1分）
- 1人で書いたあと、発表して他の人の内容を書き加えよう（2分）

NHK エコ
チャンネル
で取り上げ
られている
世界の
問題

環境問題の
歴史を知ろう

毎年から始まる 環境問題

テーマから知る 環境問題

1956	1965
1973	1979
1991	1986
2011	2012

環境クイズ1

- 日本では1年間に約4500万トンのごみがあります。
- そのうち食べ物のごみは全部で何万トンでしょう？

1. 15万トン
2. 150万トン
3. 1500万トン

1の答え

答えは

3. 1500万トン

しかし、世界の8億500万人が飢餓で苦しんでいます。

環境クイズ2

- 日本に住む生き物のうち、絶滅の危機にさらされている生き物は何種類いるといわれているでしょう。

1. 350種類
2. 3500種類
3. 35000種類

2の答え

答えは

2. 約3500種類

日本でよく食べられるニホンウナギとも2013年に絶滅危惧種に指定
原因はほとんどが人間の暮らしです。

NHK『ニュースウォッチ9』（2014年9月23日放送）
「気候サミット始まる”未来の地球”は…」より

- 2050年の気候がどうなっているか想像して書いてみよう(1分)
- グループで発表しよう（2分）
- 2014年に行われた国連機構サミット前の内容です。メモを取りながら次の動画を見よう。

自分たちの予想とあっていましたか？

- 自分たちにできる地球温暖化対策を書きだしてきましょう。
- （プリント配布）
- 配布されたプリントを見て、自分が一番できると思ったものをワークシートに書きだそう。

セヴァン・スズキ「伝説のスピーチ」

1992年、リオ・デ・ジャネイロで開催された「地球サミット」の席上、当時12歳の子供がおこなったスピーチの映像を見てください。



「フィールドワーク」→「見える化」

「環境」は身近なだけに、なかなか変化に気づかない。
気づいた時には既に手遅れということも....



→「見える化」が重要！

GRIT 環境①② 環境入門・校内フィールドワーク

いよいよ GRIT がスタートします。最初のテーマはもっとも身近な「環境」についてです。今日はその概論と校内の環境を見て学ぶフィールドワークを行います。指示にしたがって順番にワークシートを埋めていこう。

A. 知っている環境問題を書いてみよう

B. 2050年の地球（もしくは日本）の気候を想像して書いてみよう

C. ビデオを見てメモをとろう

D. 自分たちにできる地球温暖化対策を書いてみよう

E. プリントを見て、最も実践できる対策を1つ書きだそう

F. セヴァン・スズキさんのスピーチを見た感想を書いてみよう

G. 校内フィールドワーク評価

評価ルーブリック ※当てはまるところに○印をつけてください。

No.	評価ポイント	excellent	good	not so bad	work harder
1	グループ内で他の人と協力し合うことができましたか。	十分できた	まあできた	ほとんどできなかった	全くしなかった
2	スタンプをいくつ集められましたか。	7～8個	5～6個	3～4個	1～2個
3	創立者の命名された場所を何カ所まわれましたか。	13～15カ所	10～12カ所	6～9カ所	1～5カ所
4	11時40分の集合時刻に間に合いましたか。	余裕で間に合った	ぎりぎり間に合った	1分以内の遅刻	1分以上の遅刻
5	環境の「見える化」の意義を実感できましたか。	とても実感した	まあ実感できた	あまりできなかった	全く分からなかった

H. 校内フィールドワークの感想

③ 4/30 テーマ：環境 校内環境フィールドワーク

2014年度から続けているプログラムである。校内の自然に触れる環境クイズに答えながら、校内をめぐりスタンプラリーを行った。クラスで説明ののち、55分間グループごとにまわり、最後に教室で答え合わせを行った。

④ 5/28 テーマ：環境 「ホタル復活プロジェクト」

関西創価高校には蛍保存会があり、開校当初より校内で蛍を飛ばそうという挑戦の歴史がある。現在6月には蛍が飛び、1000人を超える地域の方が見学する会も開催している。蛍が生息するためには、さまざまな環境に対する考え方を構築しなければならない。そのことを通し、創立者が「ホタルは平和のシンボル」とおっしゃられているのはなぜなのかなどを考えた。

授業は、「ゲンジボタルの生態」のビデオを視聴し、学園の蛍保存会として活動をしてきた杉本創価教育センターの関西センター長がお話をしてくださったあと、ディスカッションを行った。

○GRIT 生徒用プリント：環境③ワークシート内容

GRIT 環境③ ワークシート内容

1：杉本先生のお話・ビデオを見て、プリントに書こう。

○VTR「ゲンジボタルの生態」

ゲンジボタルの幼虫が産まれる時期は？（ ）大きさは？（ ）エサは？（ ）

幼虫は川の底にすごすのは何か月？（ ） 川から上がるのはなぜ？（ ）になるため

幼虫の体には（ ）が含まれている（知らせるため光る）。

陸にのぼるときの気温は（ ）の温度と同じころ

成虫は日の光を嫌うため、（ ）の影に隠れる。飛びながら光るのは オス・メス？

オスは一斉に（ ）リズムで光って、（ ）を探す。生命は成虫になってから（ ）

最初に産卵したメスは（ ）光を（ ）して発する（場所を知らせる合図）。

産卵は1週間かけて（ ）～（ ）産む。

○杉本先生のお話

すむには3つの意味がある。3つを記入しよう。

さらにメモをとろう

2：身近な川にホタルがすむようにするためには、どうすればよいか考えてみよう。

3：感想を記入しよう

⑤ 5/28 テーマ：環境 「EarthKAM プロジェクト体験」

関西創価高校はNASAが主催する教育プログラム EarthKAM に50回連続50回参加という世界記録を打ち立てている。ISSのデジタルカメラを地上から操作し、地球を撮影しその写真から地球について考えるプロジェクトである。その EarthKAM を疑似体験する授業を行うことで、地球の今を考える授業を行った。

進行は GRIT リーダーが行った。

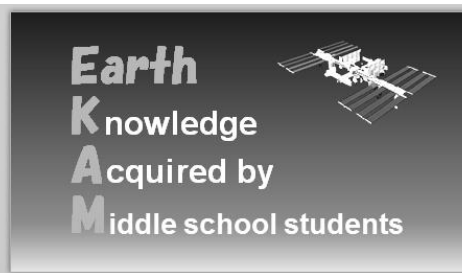
EarthKAMの説明、EarthKAMのミッション・ISSについてのビデオを見た後、実際に EarthKAM プロジェクトが撮影した写真をもとにクイズを行った。

その中で宇宙から地球を見る視点を学び、地球全体のためにできる行動を考えた。

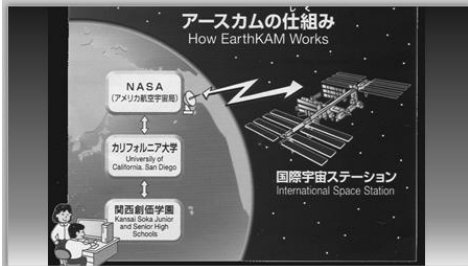
○GRIT 用 PowerPoint : EarthKAM (抜粋)



1



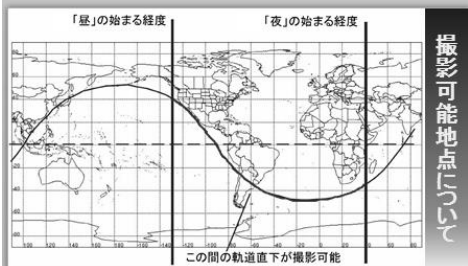
2



3



4



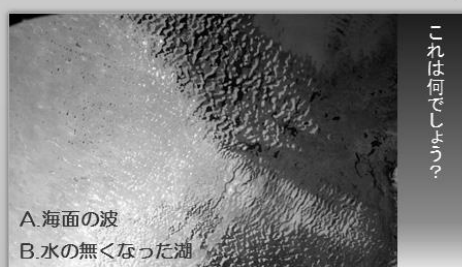
7



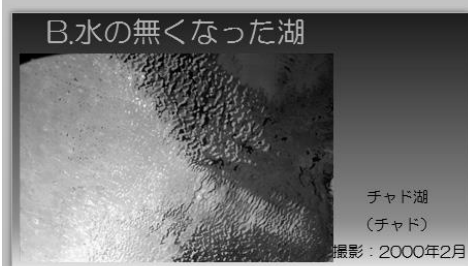
8



9



10



11



12

⑥ 6/4 テーマ：開発 「世界が50人の村だったら」（新規）

現在の世界の状況をクラス内の人数で体現するとどうなるかをモデル化した「世界が50人の村だったら」のプログラムを行った。開発教育協会が発行している教材を中心に学んだ。

クラスごとに生徒に役割カードを配布して、そのカードにかかれた人種・言語などによってグループ分けをし、世界の状況をモデル化した形で確認した。

例えば、カードに書かれているネパール語「座ってください」を、全員が起立した状態でプロジェクタに表示して、座る人が何人いるか。つまり世界の識字率が何%あるのかを確認し、読めない人はもしかすると薬と間違えて、毒を飲んでしまう可能性があるということを考えた。

最後に「世界が50人の村だったら」の文章を全員で読んで、気づいたことを話し合わせた。

○GRIT 用 PowerPoint：世界が50人の村だったら（抜粋）

The image displays a series of 8 PowerPoint slides from a presentation titled "世界が50人の村だったら" (If the World Were a Village of 50 People). The slides are arranged in a 4x2 grid, numbered 1 through 8.

- Slide 1:** Titled "GRIT 開発① 世界の現状を知ろう" (GRIT Development ① Let's know the current state of the world). It includes a date "2017/03/02" and a footer "KAIJIA SOKA SOKI GRIT".
- Slide 2:** Titled "GRIT「環境」の次は？" (What's next for GRIT 'Environment'?), it lists points about development themes, the meaning of 'development', and the importance of development education in addressing poverty and inequality.
- Slide 3:** Titled "今日のGRITは？" (What is today's GRIT?), it outlines the activity: understanding the world's status, checking the UN's 2030 Sustainable Development Goals, and distributing role cards.
- Slide 4:** Titled "「世界が50人の村だったら」" (If the world were a village of 50 people), it introduces the concept of a 100-person village and the current world population, then focuses on the 50-person model.
- Slide 5:** Titled "役割カード確認" (Role card confirmation), it provides instructions on how to use the role cards, emphasizing that they represent different people in the village and should be used to understand the world's diversity.
- Slide 6:** Titled "このあとの流れ" (Flow after this), it outlines the next steps: a PowerPoint explanation, a group discussion, and a quiz.
- Slide 7:** Titled "クイズ第1問" (Quiz Question 1), it asks for the current world population (approx. 7.5 billion) and provides multiple-choice options: A. 63億人, B. 73億人, C. 83億人.
- Slide 8:** Titled "クイズ第3問" (Quiz Question 3), it asks for the projected world population in 2050 (approx. 9.5 billion) and provides multiple-choice options: A. 75億人, B. 95億人, C. 115億人.

クイズ第4問

現在の世界の人口において、男性と女性どちらが多いでしょうか？

A. 男性
B. 女性
C. (ほぼ同じ)

9

第4問

●実際に、この村の中で数えてみよう！
●男性は右、女性は左(役割シート上)へ移動！
数えた数を書いてみよう

	男性	女性
欠席者		
合計		

実際には男性50.4%、女性49.6%でC(2010年国連人口推計)

10

どういうことに気が付きましたか？

●アフリカと日本の子どもと大人の割合
○ Unicef「世界子ども白書」による・18歳未満を子どもとする

	子ども	大人	子どもの人口
世界	33%	67%	22億人
日本	16%	84%	2055万人
アフリカ	47%	53%	4億7000万人

●どんなことが言えるでしょうか？

11

大陸ごとの人口

●世界を作ろう(机をくっつけよう)
40個の机を大陸ごとくっつける

- アジア 10個
- アフリカ 9個
- ヨーロッパ(ロシア含む) 7個
- 北米 5個
- 中南米 7個
- オセアニア 2個

●自分の住む大陸の周りに椅子に座ろう。

12

第9問

●役割カードに書かれているあひはつの言葉を声に出して言いながら、同じあひはつをしている人を探しましょう。

●仲間が見つかったら、椅子に座ろう

●3分たって、仲間が見つからなかったら、後ろに集まろう

●それぞれのグループの言語と人数を発表してください！
(学級委員さんは、あまりメンバーの言語と人数も発表してかそえてください)

13

答えは

D 中国語→A スペイン語→B 英語→C ヒンディー語

●同じ言語でも話されている地域が違う

●半分近くは1人しかいない言語だが、それにみだない少数言語も世の中に3000以上ある。

14

全員起立！

●全員起立したら、次の指示にしたがってください

बस्नुहोस

15

今、座った人は「世界で文字が読める人の数:識字率」(雰囲気でもわからず座った人は立ててください)

●何人、いますか？(欠席で読める人の数も足しましょう)

●「バスマホス」はネパール語で「座ってください」という意味です。

●7番が◎の人は手を割ってください。みなさんは子どもということで、今後文字が読める可能性があります。

●文字が読めないという理由で、毒と薬を間違えるということも世界では起きている。

16

1000万円を分配します

●○グループには741万円

●△グループには146万円

●☆グループには63万円

●□グループには35万円

●◇グループには15万円

17

これは一体？

●どういうことを意味しているのでしょうか？
グループで考えてみてください。

●5グループは10人ずつ(残り:欠席含む)います。

●つまり、全人口の20%が74.1%の富を独占しているのです。
(順に14.6% 6.3% 3.5% 1.5%)

●(このあたりの不平等は2週間後にまた考えます)

18

⑦ 6/4 テーマ：開発 「SDGs 学習」

6/4、2時間目の GRIT では、昨年9月に国連で採択された SDGs「持続可能な開発目標」の概要を学んだ。国連が SDGs を考えた背景のビデオを視聴し、新たな国連による指標を学んだ。そして、その目標を達成させゆくために自分たちがもっとも重要視すること、そのためにできることを考えるキックオフの授業とした。

○GRIT 生徒用プリント：開発①②ワークシート内容

GRIT 開発①② 世界が50人の村だったら・SDGs ワークシート

- A. 世界の50人の村だったらで気づいたことを裏面にメモを書いていこう
B. SDGsの17項目のうち、最も大切だと思う項目、もしくはもっともはやく解決すべき項目はどれだと思いますか。

(なぜ解決したほうが良いと思いますか?)

- C. このGRITで学んだことをまとめよう
D. 感想
E. 今日のGRITでできたこと、感じたことに丸をつけよう
1. 世界の現状を知ることができた
2. 世界の現状をさらに調べようと思った
3. 世界の現状を解決するためにどうすればよいか考えた
4. 世界の現状を解決するために自分に何ができるかを考えた

⑧⑨ 6/25 テーマ：開発 「貿易ゲーム」

この日は貿易ゲームを通して、フェアトレードについて学ぶ時間とした。この日の進行はGRITリーダーに依頼した。このGRITは毎年好評を得ており、全員が大きな学びとしている。

「フェアトレード」とは、公正な国際貿易のこと。途上国の原料や製品を、適正な価格で継続的な購入を通じて、立場の弱い人たちの自立と生活を改善することを目指す取り組みであることを理解するとともに、現実の国際社会では、経済的に豊かな力の強い国に有利な不公平・不公正な貿易が行われており、貿易ゲームを通じて、世界の不公平な貿易の状況を学んだ。

さらに、2016年に来日したウルグアイのムヒカ元大統領の紹介ビデオとスピーチ動画を視聴した。このビデオは「世界で最も貧しい大統領」として知られており、資産の80%を寄付、個人資産は約18万円の車のみ、月に約10万円強で生活をされており、そのビデオを見て、開発の必要性、などを考えた。

○GRIT 生徒用プリント：開発③④ワークシート内容

6/25 GRIT 開発③④ 貿易ゲーム ワークシート

- A. 貿易ゲームの勝因・敗因（ゲーム中に工夫したことを書いてみよう）
B. 貿易ゲームの感想（ゲーム中に感じたことを思い出して書いてみよう）
C. ところで、貿易ゲームにでてきたものは、現実社会において何を表していると思いますか？（紙）・（はさみなど道具）・（情報端末・情報）
D. 今日のゲームが現実社会をあらわしているとしたら、どのような点だと思いますか。また、違うところはどこだと思いますか。
E. 他の班の状況を聞いて感じたことをまとめよう
F. ビデオを見ながら、メモをとろう
G. ビデオを見ての感想
H. 今日のGRITでわかったことをまとめよう
I. 今日のGRITでできたこと、感じたことにより近いものに丸をつけよう
(それぞれ複数の項目に当てはまるときは複数の○をつけてかまいません)

(貿易ゲーム)

A. 班員と協力し、さらに、どうすればお金を稼ぐことができるか積極的に考え、他班と交渉した。	B. 班員と協力し、さらに、どうすればお金を稼ぐことができるか考えた。	C. 道具を使って、製品を一生懸命作った。	D. 何もしなかった（途中であきらめた）。
--	-------------------------------------	-----------------------	-----------------------

(終了後)

A. 今回のゲームと現実との差異、共通点を考えることができた	B. 今回のゲームと現実との差異、共通点を聞いてわかった。	C. ゲームと現実の間に差異や共通点があることはわかった。	D. 特に何も感じなかった。
--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------

(ビデオ視聴後)

A. 元大統領のスピーチの内容を現状と見比べて、これからの自分の行動について考えることができた。	B. 元大統領のスピーチの内容を現状と見比べることができた。	C. 元大統領のスピーチがすごいと思った。	D. 特に何も感じなかった。
--	--------------------------------	-----------------------	----------------

○GRIT 用 PowerPoint：貿易ゲーム（抜粋）

20170304

GRIT 開発③④ 貿易ゲーム

KANSAI BOKU SHIN SHUP

05:00

1

貿易ゲームの目的

- 渡されたものだけを使って、自分たちのためにできるだけ早くたくさんのお金を稼ぐことです。
- 渡されたものを以外を使うことはできません。(グループに道具の封筒を配ってください)封筒はスタートになるまで触れないでください。
- お金は、「製品」は紙を切って作ったものを「マーケット」で売ることによって手に入ります。

05:00

3

製品一覧 (3枚1組の値段)

5cm × 7cm の長方形	300
1辺 7cm の正三角形	500
配布された大きさの 分度器の形	500
直径 7cm の円	1500

05:00

4

GRIT 「開発」

- 前回のGRIT「開発」では、世界の現状と今目標としているSDGsを学びました。
- 今回のGRITでは、ゲームを通して世界の仕組みについて考えてみたいと思います。
- 今日の進行はGRITリーダーが行います。クラスみんなで協力して、GRITの成功につなげていきましょう。

05:00

2

ルール

- 「製品」は、ハサミを使ってきれいに切り、決められたおりの大きさにしていないといけない。
- 「マーケット」で「製品」を売るときは、必ず3枚1組でなければなりません。
- 暴力、脅し、道具の強奪、盗みは禁止！
- 途中で困った時もグループで相談して解決してください。
- GRITリーダーには、ゲーム中相談はできません。
- 何分間ゲームが続くかはわかりません。いきなり終わる可能性もあります。どう行動するか考えてみましょう。

05:00

4

各班の情報を発表

- 班が最初から持っていたもの(紙の枚数、道具など)
- 自分のグループの勝因、敗因(うまくいったポイント、うまくいかなかったポイント)
- (あれば)状況が変わったときに工夫したこと
- (あれば)他の班と交渉したときに苦労したこと、驚いたこと(こんな理不尽な交渉があったなど)
- 感想

- 各班1分以内で発表してください。

05:00

7

状況の変化の確認

- ゲーム中にどんな変化があったか確認してみましょう
 - 不平等な持ち物
 - 長方形の暴落
 - 長方形の急騰
 - 情報漏れ？どんな情報が流れてました？
 - 長方形が急騰するらしい
 - シールを貼ると高くならしい
 - マーケットの値い
 - 途中で9・10班への援助
 - 時間で問答無用で終わるマーケット

05:00

8

こんな班ありませんでしたか？

- 情報を手に入れて、シールという貴重な財産を安く手に入れようとした
- 安く仕入れた紙を高く売ろうとした
- 他の班の様子を見て、情報がどんなものか推測した
- 自分たちからの交渉は高圧的に行うのに、他からの交渉は一切無視
- 何をしてもかわからず、他の班に言われたままに従ってしまう
- これはいったいどういうことでしょうか？

05:00

9

各班でディスカッション

- 今日のゲームは現実社会をあらわしているとしたら、どのような現象をあらわしていると思いますか？また、これは現実と違うと思うことはありますか？
- また、ゲームの途中の変化や「紙」「道具」「端末」、途中で使われない「シール」などは一体どういうことを表しているでしょうか？
- ワークシートに書いたことをもとに、各班考えてみてください。(10:25からは次のシートに移ってください)

05:00

10

ここで

- 今年4月、南米ウルグアイのムヒカ元大統領が来日しました。
- 世界一貧しい大統領と呼ばれた元大統領の2012年リオ会議でのスピーチを見たいと思います。(地理で一部見ていると思いますが、今のゲームをした自分たちの世界と見比べて、メモをとりながら見てください)

05:00

10

ゲームではさまざまな現象が起きましたが

- 「紙」という「資源」を「道具」という「技術」を使って、お金を稼いでいるいろいろな国がありました。
- 「情報」を手に入れた、新たに価値が生まれた「シール」を早く手にしようとした班がいたり、他の班をいかに出し抜くか、エゴが多くなった班があったりしたと思います。
- 製品を作った後には、紙くずという「産業廃棄物」を多く生み出した班もあると思います。
- さあ、まだまだ発展途上国がたくさんある世界に対して、みなさんができることは何でしょうか？

05:00

10

⑩～⑬7/19 9/10 フィールドワーク（インタビュー）

本年も高校1年生全員が探究活動の課題として夏休みにインタビューに取り組んだ。フィールドワークリサーチとして、「環境、開発、人権、平和」の4分野の中からテーマを選び、身近でその分野で働く人々にインタビューを行うことにより、現実の中でどんな活動が行われているのかを学ぶことを目的とした。

NHKの高校講座「国語総合」から「インタビュー」の回を抜粋して視聴し、その後、課題を説明。そして、ロールプレイを行った。

生徒はそれぞれ夏休みに身近な人にインタビューを行い、内容を、B4のポスターとしてまとめた。

9月のGRITの時間に、ポスター発表会として、グループで自分のポスターを見せ、内容を発表していき、優秀作品をグループでひとつ決め、代表はクラスみんなの前で発表。更に、クラスで最優秀作品も決め、全作品を廊下に掲示した。

○GRIT用PowerPoint：インタビュー説明（抜粋）

The PowerPoint presentation is divided into four pages:

- Page 1:** Title slide: GRIT 夏の課題「フィールドワーク」4分野をインタビューで学ぶ. Date: 2017/03/04.
- Page 2:** フィールドワーク(インタビュー)内容.
 - 「環境」「開発」「人権」「平和」に関する仕事、活動をしている身近な人にインタビューを行う。
 - インタビューは個人個人が行う
 - できる限り相手と一緒に写っている写真を撮って、ポスターに貼ろう。(ただし、お断りされた場合は、建物の写真など)
 - 提出方法
 - A3用紙(縦)にまとめて提出 → 廊下に掲示
 - 9月10日GRITにて発表、提出(ポスター作成時間はありません)。
- Page 3:** 目的.
 - ①. 1・2年生のGRITで学習する「環境」「開発」「人権」「平和」の4分野について、身近な人にインタビューを行うことにより、実社会の中でどんな4分野に関する活動が行われているのかを学ぶ。
また、身近に存在する4分野を考えるきっかけにする。
 - ②. フィールドワーク(インタビュー)を行うことにより、研究や分析に必要な調査の基礎を学ぶ。
- Page 4:** ロールプレイ(役割練習).
 - 2人(3人)一組で、以下のように役割を決めて、インタビューの予行練習をしてみましょう。その役割になりきって、「上手な尋ね方」「上手な答え方」を考えよう。
 - 質問の
 - また、グループの他のメンバーは、そのインタビューをチェックして、良かった点、改善したほうがよい点をコメントしてください。

Below the main content, there are two sample situations:

- Situation 1:**
 - Aさんは、関西創価高校を受験しようかどうか迷っている中学3年生。Bさんは、高校受験で入学した高校2年生です。Aさんは「先輩が創価を目指した理由」「実際の学園生活で一番楽しいこと」や「()」を知りたいと思っています。
 - ()の中は自分たちで考えよう
 - 2分：内容検討 5分：インタビュー 3分：コメント・評価
- Situation 2:**
 - Cさんは、新入生で、どのクラブに入ろうか迷っています。そこでD先生に相談に行きました。D先生はクラブの担当者で、ご自身も高校時代に「○○部」で活動していた経験があります。Cさんは、「クラブをすることの意味」「D先生の高校時代のクラブ活動の思い出」と「()」について聞いてください。
 - ()の中は自分たちで考えよう
 - 2分：内容検討 5分：インタビュー 3分：コメント・評価

⑭⑮ 10/8 テーマ：人権「世界の人権問題ポスターツアー」

GRIT人権の初めは世界の人権問題のインプットを行うことを目的とした。

まずはノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん紹介ビデオと、国連でのスピーチを視聴した。

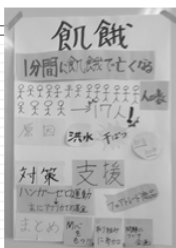
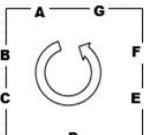
今回はたくさんあるテーマを生徒が説明する形にするため、ジグソー法を発展させたポスターツアーの形式で発表を行うことにした。

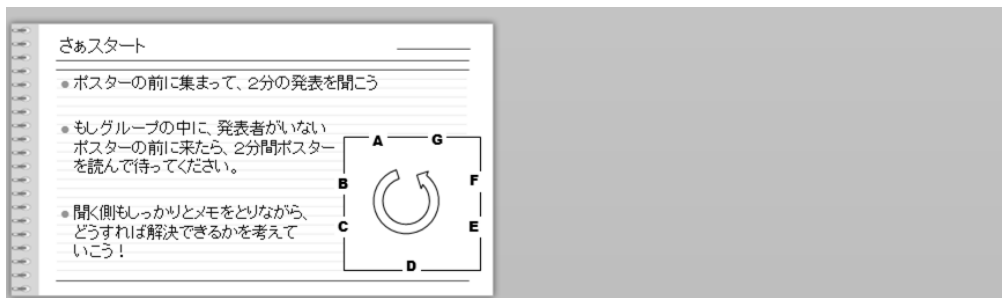
まず生徒はグループをつくり、グループごとに国際NPO「アムネスティ」のホームページの人権

問題をグループごとに違うテーマで読ませ、それをポスターにして、発表ができるようにした。ポスターといっても、項目ごとに付箋で内容をまとめたものである。そのポスターが完成したら、グループを作り直し、新しいグループには最初の違うグループのメンバーが集まるようにした。時間を区切って、ポスターを回り、自分の作成したグループのポスター前ではそのグループ員が発表するようにした。

したがって、全員が必ず発表を行うようにした。2年生でも行った。

○GRIT 用 PowerPoint：人権問題ポスターツアー（抜粋）

2017/03/04 GRIT 人権①・②	今日のGRIT人権①・② 2学期最初のGRITは人権について考えていきます - 世界で起きている人権問題 - 身近な人権感覚を考えていきます - ところで、みなさんは「人権」って大切にしていますか？ - 何をすることが「人権」を守ることになりますか？ - 世界ではどんな「人権」問題が起きているかを知っていますか？ 1時間目の青春対話では「人権」とは何か？というテーマを読みました。さらに、具体的に考えていきましょう。
ビデオ マララ・ユスフザイさん スピーチ 2014年ノーベル平和賞を17歳の年齢で受賞したマララ・ユスフザイさんのビデオを見ます 「クローズアップ現代」(2014年1月8日(水))抜粋 「国連でのスピーチ」(2013年7月12日)抜粋 - パキスタン北部で、女子が教育を受ける権利を訴え続けてきたマララ・ユスフザイさん。タリバンによって銃撃を受けたが、奇跡的に一命を取り留めました。それでも彼女が訴え続ける権利とは？と考えながら見てください。	世界の人権問題を学ぶ - グループごとに世界の人権問題を学んで、ポスターを作ります。 - 資料は国際人権NPOアムネスティによる内容です - まずは、各グループごとに配布されたプリントの内容を理解してください。(必要があれば、タブレットで調べてみよう) - ポスターにして全員が2分で説明できるようにしてください！！ - 全員に説明してもらいます！！
ポスターの作り方 - それぞれの人権問題に対して、A3用紙にふせんを貼ってポスターにしてください。 - きれいなポスターでなく、内容がまとまっているものというポスターです。 例→ 	ポスター 内容 - ポスターにはそれぞれの人権問題について、「概要」「現在」「対策」などの項目ごとに、ふせんをはっていきこう。 - 項目は自分たちで変更してかまいません(資料ごとに内容が違いため) 「対策」の項目は必ずつくろう。 - ぜひ自分たちの意見も書いていこう。 - 休憩を含め、11時20分までに完成してください。
新グループ作成！ - 各グループから1人ずつになるような新グループをつくってください(担当の先生の指示にしたがってください)。 - ポスターはホワイトボード、壁、窓にはって、そのまわりに新グループごとに集まってください。 - もしグループの中に、発表者がいないポスターの前に来たら、2分間ポスターを読んでください。 - 聞く側もしっかりとメモをとりながら、どうすれば解決できるかを考えていこう！ 	ポスターセッション様子 



⑩⑪ 10/29 テーマ：人権 「いじめといじりディベート」

これも昨年度からのプログラムである。日々当たり前に使っているあだ名もエスカレートし、本人が嫌がるといじめにつながる。「いじり」と「いじめ」の境界線を考え、今近くにいる友達の人権を考えるためにディスカッションを行った。

まずは、NHK「いじめをノックアウト」あだ名は禁止するべきですか？の回を視聴し、あだ名を嫌がっている子、あだ名は禁止すべきであるという意見を紹介した。その後まずは個人でメリット・デメリット・あだ名がいじめにならないための解決策3か条を考え、グループごとにディスカッションし、グループごとに解決策を考える、それをクラスで発表し、またグループでディスカッションし、クラスのルールを1つ作成した。

スムーズにディベート風ディスカッションができるように、ワークシートには穴埋め形式のシナリオを準備した。

できる限り全員一致のルールがつかれるように、GRIT リーダーに進行役を依頼した。

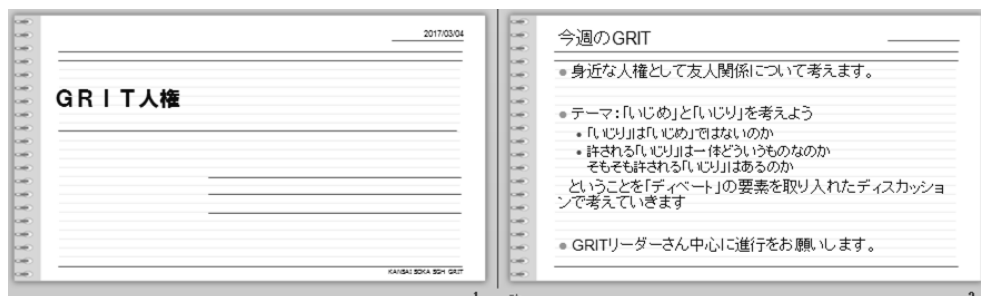
このプログラムは2年生でも同時に行われた。

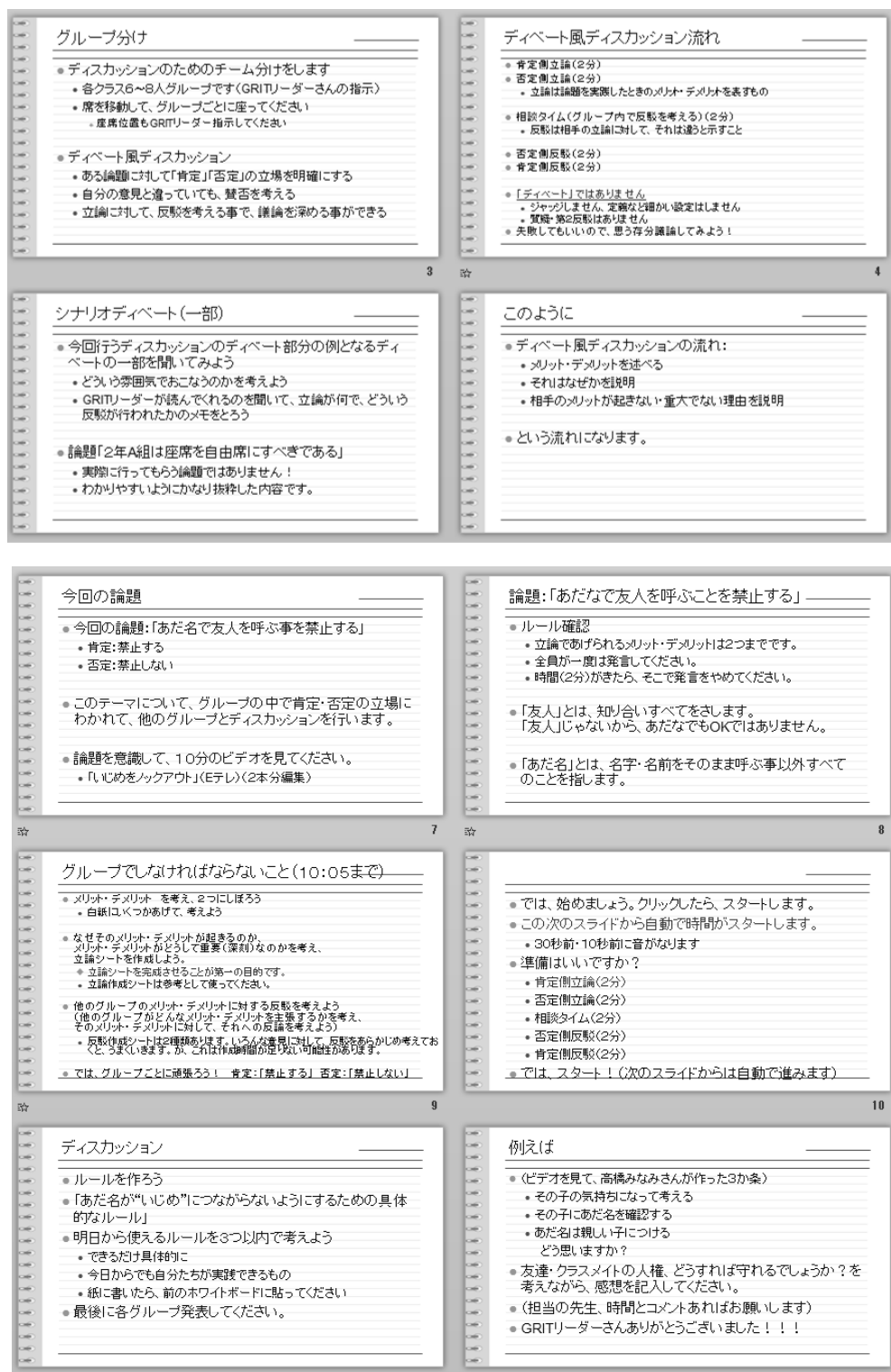
○GRIT 生徒用プリント：「いじり」と「いじめ」グループワークシート

GRIT 人権 「いじり」と「いじめ」

○あだ名が「いじめ」につながらないようにするための具体的なルール

○GRIT 用 PowerPoint：「いじり」と「いじめ」ディスカッション（抜粋）





○GRIT 生徒用プリント：「いじり」と「いじめ」グループワークシート内容（抜粋）

GRIT 人権 肯定側立論シート

○これから肯定側立論を始めます。

○それでは、「あだ名で友人を呼ぶ事を禁止する」ことから発生するメリットを2点(1点)述べます。

メリットは、1つ目に_____
2つ目が_____です。

○第1のメリット _____ について説明します。

「あだ名で友人を呼ぶ事を禁止」します。すると(発生過程の説明)、

こうして、メリットの_____が発生します。
○なぜこのメリットが重要かという点、
ですから、このメリットは重要です。以上で、肯定側立論を終わります。

GRIT 人権 否定側立論シート

○これから否定側立論を始めます。
○それでは、「あだ名で友人を呼ぶ事を禁止する」ことから発生するデメリットを2点(1点)述べます。
デメリットは、1つ目に_____
2つ目が_____です。
○第1のデメリット_____について説明します。
「あだ名で友人を呼ぶ事を禁止」します。すると(発生過程の説明)、
こうして、デメリットの_____が発生します。
ですから、このデメリットは深刻です。以上で、否定側立論を終わります。

GRIT 人権 肯定側反駁 シート

○これから肯定側反駁を始めます。
○否定側は第1(2)のデメリットの発生過程(深刻性)で、
といった。しかし、それは違います。
○なぜなら、

だからです。
したがって、このデメリットは発生しません(深刻ではありません)。
以上で肯定側反駁を終わります。

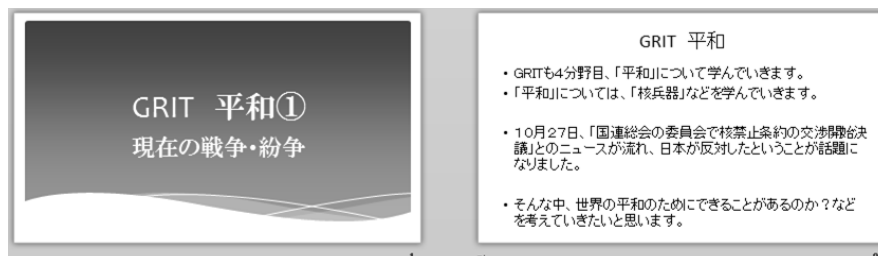
⑩ 11/5 テーマ：平和 「現在の戦争・紛争：ソマリア・南スーダン」

平和の回の最初は、今世界で起きている戦争・紛争の様子をVTRでみてもらう回にしました。まずは、数多くの現在の戦争・紛争をリストアップし、その戦争・紛争を知っているかどうかに関心を持って行いました。また、クローズアップ現代「破綻国家 衝撃の潜入ルポ ～混乱するソマリア・南スーダン～」の回を視聴し、平和な国日本にあって気づかないところもあるが、世界ではまだ紛争が起きており、子どもたちが巻き込まれていることを実感しました。

そして、TED「テロリストの子どもに生まれて」の回を視聴し、どうやったら差異を乗り越えられるかを考えた。

この回は2年生のGRITでも同様に視聴した。

○GRIT用 PowerPoint：現在の戦争・紛争（抜粋）



現在の戦争・紛争 ・さて、みなさんは、21世紀に入ってから起きている戦争・紛争について、どこまで知っていますか？ ・21世紀に入ってから戦争・紛争についてワークシートの一覧に、 -知らない × -聞いたことがある △ -どうやら戦争が起きている ○ -説明できる ◎ をつけてみてください。	ビデオ1:「クローズアップ現代」(抜粋) ・実際に現在起きている紛争のうち、2つ「ソマリア」「南スーダン」の現状をビデオで見たいと思います。 ・“破綻国家”衝撃の潜入ルポ～混迷するソマリア・南スーダン～NHK 2016年9月20日放送 ・ビデオを見ながら、新たに知ったこと・気づいたこと・疑問に思ったことを書いていこう。
ビデオ2:「TED」ザック・エブラヒムさんの講演 ・前提知識 - 1993年2月26日、ニューヨークの世界貿易センタービル(WTC)の地下駐車場2階で爆弾を爆らした車が爆発。 - 爆発により6人が死亡し、少なくとも1,040人が負傷したという ・彼が自分の友人だとして、話を聞いてみよう	ビデオを見て、ワークシート記入 ・感想を書こう ・あなたは彼の友人だとします。スピーチを聞いて、彼の話を初めて聞きました。スピーチのあと、何をするか考えてみよう。 ・GRIT平和では、さらに核問題などを考えていきます。戦争・紛争について、平和について、どう取り組んでいくか考えてみてください。

⑨ 11/19 テーマ：平和 「被爆体験朗読会・核兵器について学ぶ」

核兵器について学ぶ回を行うために、広島フィールドワークの際に国立広島原爆死没者追悼平和祈念館行われている「被爆体験朗読会」を行った。広島フィールドワークに参加した生徒が全クラスを分担して担当し、フィールドワークのときの報告が行われた。その後、原爆被害の概要をまとめた「被爆の爪痕」のビデオを視聴。その後 GRIT リーダーさんが被爆体験を2つ朗読した。

次に4つの原爆詩を全員で音読、その後グループごとに1つずつ音読した。そして、その様子を思い浮かべながら、感想を話し合った。

休憩をはさんで、原爆の問題点がかかれたプリントを学び、ジグソー法をつかって、新しいグループでそれぞれが発表した。さらに NHK スペシャル「スミソニアン展示」を視聴し、アメリカの意見を学んだ。

進行は GRIT リーダーさんをお願いした。

○GRIT 生徒用プリント：原爆詩朗読会（抜粋）

GRIT 平和 ワークシート

- ① ビデオ1の感想
- ② 朗読会をしてみて思ったこと
- ③ 自分たちの班の内容を1分で発表できるようにまとめよう
- ④ 他の班のメンバーの発表をメモしよう
- ⑤ 学んだこと・感想

○GRIT リーダー用進行プリント

11/19 2・3限 GRIT リーダー会 1・2年平和用

よろしくお願いします。シナリオ付き PowerPoint は木曜日の帰りの HR で担任の先生から配ります。
今日は流れと、あらかじめ準備しておいてほしいこととお話しします。

GRIT テーマ：核兵器

核兵器の悲惨さを広島の体験談を使って学び、問題点を資料によって、ジグソー法で学ぶ。2限（GRIT の1時間目）は広島 FW メンバーが全クラスに入って、思いなどを話してくれます。（各クラスに担当の広島 FW メンバーがいます。他クラスからくる場合もあるので、進行は基本的に GRIT リーダーさんをお願いします。もし可能なら、あらかじめ打合せができると素晴らしいです）

GRIT リーダーの役割

- ①. GRIT 進行役（シナリオ付き PowerPoint を準備中）
- ②. グループワーク用グループ（1 グループ 5～6 人）作成（途中で解体します）
（公欠がないかなど担任の先生とあらかじめ相談しておいてください）
- ③. 体験談の朗読（一人ずつ）

GRIT（2・3 限）流れ 波下線はあらかじめ GRIT リーダーが準備すること

2 時間目:

- ①. 導入説明（教員）・プリント配布・グループ移動（5 分）

グループをあらかじめ作成しておいてください。

- ②. 広島 FW メンバーによる一言（5 分）
- ③. ビデオ（PowerPoint 内にあります）（10 分）
- ④. 被爆体験記朗読会（20 分）：別紙参照

被爆体験記を渡しますので、それを 1 人ずつ読んでください。（ぜひ最大限気持ちを込めて読んでください）

- ⑤. ディスカッション・感想記入（10 分）

3 時間目（グループは変えても変えなくてもかまいません）

- ①. 説明＋資料配布（5 分）
- ②. 資料をグループごとにまとめ、全員が 1 分で説明できるようにする。（10 分）
- ③. グループ移動（5 分）

全グループがばらばらになるように移動をさせてください。（前回のポスターツアーの方法を思い出して、担当の先生と相談してください）

- ④. 新グループ内で前グループでまとめた内容を発表（10 分）
- ⑤. ビデオ（10 分）
- ⑥. ディスカッション・感想記入（10 分）

○GRIT 用 PowerPoint：原爆詩朗読会（抜粋）

 GRIT 平和 核兵器を学ぶ	GRIT 平和「核兵器」 - 今日の GRIT の 2 時間では、「平和」に対して最も脅威となる「核兵器」について、学び、考えていきます。 - 今日の進行は GRIT リーダーさんです。よろしくお願いします。 - また、この時間は広島フィールドワークにいったメンバーも各クラスに入ってくれます（もし、まだ担当クラスに行っていないフィールドワークメンバーがいたら、移動してください）。 - ワークシート・朗読用紙を配布して、グループになってください。
大切なもの、愛するものを守る？ - 人間には、愛するものを守りたいという感情があります。 - 大切なもの、愛する人々を守りたいという思いが、軍事技術を開発する動機にもなってきました。 1945 年、核兵器が開発され、使用されるまでに至りました。 - ここで実際に広島を訪れたフィールドワークメンバーから一言あります。	どう思いましたか？ 1945 年 8 月 6 日、9 日。原爆によって、日本は大きな被害をおいしました。その様子を見て、どう思いましたか？ - 感想を記入してください。 - ここで被爆体験に関する朗読会を行います。 - まずは GRIT リーダーが、被爆体験を 2 本朗読します。目を閉じて、心で聞いてください。

続いて、原爆詩の朗読

- ・原爆詩を読みたいと思います。
- ・まずは、全員で声を合わせて読んでいきます。
ー(広島フィールドワークメンバーは補足があれば随時お願いします)。
- ・次に、各班代表が(男女交互)になるように、4つのうち、心に残ったものを1つ選んで読んでください。
ー同じものが読んでもかまいません。
- ・(時間があれば)グループで「原爆詩を読んだ感想」「自分がその場にいたらと思うこと」「自分の家族を思い浮かべて感じたこと」を話してみてください(感想用紙に書いてください)。

- ・さっきの時間では、原爆被害にあった人たちの声を読んでみました。
- ・この時間は、いかに「原爆」に問題があるのかをグループごとに学んで発表するようにしたいと思います。
- ・各グループ別に資料を配ってください。
- ・グループごとに選ばれた資料を全員が1分で話せるようにまとめてください(10分間)

新しいグループ

- ・新しいグループで、前のグループでまとめたことを1分ずつで発表してください。
- ・(1分は担当の教員(もしくはGRITリーダー)がはかってあげてください)
- ・聞いている人はメモをしっかりとろう。
- ・(発表が終わったら)なんでこんな兵器が必要だと思っているのか、保有国の立場で考えて、ワークシートに書いてみよう

- ・原爆を落としたときのアメリカ側の様子を見てみよう
「アメリカの中の原爆論争 スミソニアン展示の波紋」(1996)
- ・どう思いましたか？
- ・(時間があれば)ビデオの感想・これから核兵器をどうしていけばいいのかがグループで話してください。
- ・3年生のGRITで、さまざまな立場で核兵器を減らす交渉してみます。
- ・(担当の先生)一言あれば、お願いします。
- ・GRITリーダーさんおつかれさまでした！

②⑩ 12/17 テーマ：平和 「平和のためにできること」

GRIT 平和最後の回では、2016年に国連で核兵器禁止条約に日本が反対をしたということから、そのことに「賛成」「反対」の立場の意見を読み、同時に12月に行われた「国連軍縮会議」の様子、「核廃絶を訴える高校生たち」とのビデオを見て、じぶんたちができることは何だろうかと考えた。

○GRIT 用 PowerPoint：平和のためにできること（抜粋）

GRIT 平和④

平和のためにできること

GRIT 平和 ビデオ1

- ・GRIT平和も4回目です。
- ・今日で1年生でのGRITの学びも最後です。
- ・まずは、12月12・13日に長崎で行われた「国連軍縮会議」の様子をまとめたビデオを見てください。
(NHKニュースと長崎でのニュースをまとめたものです)

核兵器禁止条約、日本はなぜ反対したのか

- ・資料をグループで読んでみてください。
- ・なぜ日本が反対したのかを考えてみよう。
- ・そして、ワークシートに「日本が反対したことに対して、賛成点、反対点それぞれの立場から考えて書いて、自分はどう思ったかも書いてみよう。
- ・それをグループの中で発表しよう。

ビデオ2 平和のためにできること

- ・キャッチ！世界のトップニュース(2015年)
- ・「核兵器廃絶」を訴える日本の高校生たち
- ・国連平和大使の活動を紹介しています。
- ・「自分にできることはなんだろう？」と思いながら、できることを書き込みながら、観てください。

○ 12/17～2017/2/18 プレゼンテーション準備・発表

6人グループを作成し、1年間学んできたことをまとめ、学園生からの提言という形でまとめて、保護者の前で発表した。この発表では、パソコンを使わず、寸劇・紙芝居・模造紙によるまとめ・パネルディスカッションなどの手法を使うことにより、どう発表したいことをまとめるのか、表現するのかを学んだ。

5.2 2年生 テーマ：「人権」「平和」「課題研究」

2年生のGRITではグループによる課題研究が行われた。「人権」「平和」のGRITの内容は1年生と同様なので割愛。

日付	回	テーマ	詳細
2016/4/16	1	ガイダンス	ガイダンス
4/30	2	課題研究	研究計画作成
	3	課題研究	研究計画作成
5/28	4	課題研究	研究計画作成
	5	課題研究	研究計画作成
6/25	6	課題研究	振り返り
7/19	7	課題研究	リサーチ
	8	フィールドワーク	フィールドワーク計画
9/10	9	フィールドワーク	国内フィールドワーク報告
	10	フィールドワーク	各自フィールドワーク報告
10/8	11	人権	世界の人権問題
	12	人権	人権問題ポスターツアー
10/29	13	人権	いじめといじりディベート
	14	人権	いじめといじりディベート
11/5	15	課題研究	リサーチ
	16	課題研究	リサーチ
11/19	17	平和	被爆体験朗読会
11/19	18	平和	核兵器の現在
12/17	19	課題研究	大学院生へのプレゼン
	20	課題研究	大学院生へのプレゼン
2017/1/14	21	課題研究	大学院生へのプレゼン
	22	課題研究	大学院生へのプレゼン
	23	その他	タブレット配布
1/21	24	平和	平和のためにできること
2/4	25	課題研究	プレゼンテーション
	26	課題研究	他クラスへのプレゼン
	27	課題研究	他クラスへのプレゼン
2/18	28	課題研究	準備
	29	課題研究	保護者への発表
	30	課題研究	保護者への発表

○ 創価大学研修に向けて

6月に行われた創価大学研修において、グループごとにプレゼンテーションを行った。そのための調査・発表準備を行った。

創価大学研修において、大学教員の前でプレゼンテーションを行い、質疑を受け、内容を深めた。

○GRIT 生徒用プリント：大学研修に向けた課題研究ワークシート内容（抜粋）

○創大研修 GRIT 研究発表について

いよいよ創大研修に向けて、研究発表の準備をスタートします。昨年度GRITで学んできたことをもとにして準備を進めても、はじめから調べて準備を進めてもどちらでも構いません。世界で起きている諸問題について自分なりの意見を持つことができる一人ひとりへと成長するためのステップであると捉え、積極的に挑戦していきましょう。

■発表の内容

○発表時間は15分。(発表10分 + 質疑応答3分 + 準備・片づけ2分)

○発表の構成

- 1) 問題の提起…具体的な global issue をあげ、概要を説明する。
- 2) 背景…問題が起きている背景には何があるのかを指摘する。

- 3) 本質…問題解決のためにはどうすることが必要なのかを指摘する。
 - 4) 提言…3を受けて具体的な提言を行う。
 - 5) 今後の方向性…3学期の最終発表に向けて、どう研究を深めていくか決める
- 発表の方法はパワーポイント、模造紙のどちらでも可。

■研究発表のポイント

- 企画は現実をしっかり把握してから計画を立案。実現可能な範囲で考える。
- なんらかの「目新しさ」があること。
- 裏付けを提示しながら主張を行うこと。
- 予想される質問に対して回答例を考えておくこと。

テーマ決定のプロセス

1年間皆で格闘する「テーマ」です。掘り下げがいがあるものを考えましょう。
 とは、いうものの1年間深めていく内に、さらに新たな問題が発見されるということも十分に予想されます。テーマが「バージョンアップ」したり、より「深い」テーマになったりすることは仕方ないでしょう。

○テーマ決定までの道のり

- ①まず、それぞれの分野に沿ってイメージを膨らませる。

例) 環境分野 → 水質汚染、空気汚染、土壌汚染、温暖化、酸性雨など

- ②膨らませたイメージを絞り込んだら、具体化の作業をする。

例) 「水質汚染」について深めよう。

水域の種類 (海? 川? 湖?), どの国の水 (日本? そのほかの国? 比較?)

汚染の種類 (ゴミ? 重金属? プランクトン?)

- ③そのテーマの可能性と価値を考える。

例) 「日本の湖におけるプランクトンの異常発生について」調べるとすると、それが深まる可能性は?

④プランクトンの異常発生の「原因」とテーマを設定すると、文献を調べて「原因」にたどり着けば、そのテーマは終了。(自分たちで原因を探るところまでは難しい)

⑤プランクトンの異常発生を「防ぐ」には? とテーマを設定すれば、上記の「原因」を調べた上で、さらにそれに対して現在行われていることを調査し、それを踏まえた高校生目線の新しい「アイディア」を提案することができるかも知れない。(その実現可能性について大学教授の意見を聞くこともできるかも)

※ある程度の研究のゴール地点を予想することが大切です。

○テーマ例

環境	水質汚染とその改善	ゴミを減らすためには	地球温暖化
開発	開発途上国の教育問題	世界の水問題	シリア難民の開発援助
人権	LGBT と私たちの未来	子どもの権利	ハンセン病について
平和	核廃絶	中日友好について	テロについて

○生徒の感想: 短い準備期間ですが、グーグルスライドやパワーポイントを使って、大学教授の前で、各班しっかりとプレゼンができていました。大学教授も、真剣に聞いて、パワーポイントの内容、今後加えるべき研究内容、改善点を具体的にアドバイスしてくださり、準備は大変でしたが、想像以上に良い機会となりました。

○ 研修後・大学院生の発表・最終発表（保護者前）

研修後は、創価大学での発表を振り返り、夏休みにフィールドワークとして、各人が更にテーマについて掘り下げて調べてこられるところを調べてくることになりました。それを、休み明けの9月10日に発表しあい、各班のプレゼンに取り入れていきました。

さらにまとめていき、12月17日、1月14日 大学院生の前で発表を行いました。各クラスに

一人ずつ、大学院生に入ってもらい、各班のプレゼンを見てもらいました。大学院生からは、内容に関する質問、加筆、修正、追加で調べることや、パワーポイントの文字や図の入れ方、発表の仕方など、具体的な細かなアドバイスもしてもらい、有意義な時間となりました。

2月4日には、大学院生のアドバイスを受けて、2時間の GRIT の時間、またグーグルクラスルームを活用して、各自での分担作業での修正を行いました。

そして、2月4日、クラスをシャッフルして分野ごとに集まりリハーサルを行いました。

他のクラスの発表を見て、お互いに刺激を受け、発表の仕方や、スライドの文字の見やすさなど、お互いに気付いたことを確かめあうことができました。

2月18日には保護者の前で発表を行いました。優秀グループは最終研究発表会で発表を行いました。

○GRIT 発表（開発分野）「トイレの有様」（抜粋）

1. Development team
トイレの有様
小西沙織 松田広美
佐竹孝二 松尾沙織
樋真輝

2. トイレのない生活を想像できますか？

3. Outline
1. 目的
2. トイレの現状紹介
3. トイレ問題への世界の取り組み
4. 提案
5. まとめ

4. Purposes
＞ 世界のトイレ問題に関する現状を発信する
＞ トイレが人間社会にもたらす影響を再確認する
＞ 高校生の視点から新たな解決策を提示する

5. 1日に800人以上が亡くなっています

6. 教育
EDUCATION
学校のトイレ環境が登校を遠ざける要因に

なぜトイレ問題は
解決されないのか？



1. 政府にトイレが重要であるという認識がない
2. 開発のための資金が十分でない
3. 長期的な健康よりも、今日を生きること

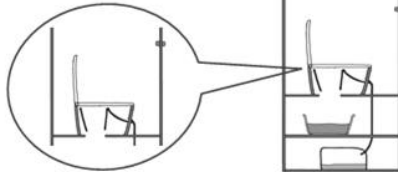
創価大学研修までのゴール

1. 『見えないトイレ』活動の推進
2. SNS特設ページ『トイレの有様』開設

トイレ問題への認知・関心UP

Proposal

コンポストトイレの推進



Proposal

コンポストトイレの推進

1. 低コストでシンプルな構造
1. 水を使わない
1. 糞尿の再利用



Action Plan: コンポストトイレ普及のために

場所: サハラ以南アフリカの農村部

目的: 農村部への継続的なトイレの普及
堆肥による農業生産高の向上

主な材料: レンガor木材・トタン
ポリバケツ・ホース・便器



Action Plan: コンポストトイレ普及のために

5年間のサイクル



今後の課題



Conclusion

私達の命を守るトイレのこと、
ちゃんと考えてみませんか？



参考文献

- コンポストトイレの廃止事業: <http://www.nhieshiqto-hiroba.com/introduction-compost.php>
 コンポストトイレの作り方: <http://kurame.net/2014/220/240/>
 難民キャンプの状況: https://www.unicef.org/hqna/ja/15406_21237.html
 発展途上国のトイレについて: <http://seize-stone.com/science-technology/techsolutions-toilets-issues/>

5.3 3年生 テーマ：「模擬国連」「論文・英語サマリー」

日付	回	テーマ	詳細
2016/4/16	1	ガイダンス	ガイダンス
4/30	2	模擬国連	核軍縮交渉シミュレーション
	3	模擬国連	核軍縮交渉シミュレーション
5/28	4	模擬国連	核軍縮交渉シミュレーション
	5	模擬国連	決議
6/25	6	模擬国連	国連についての説明
7/19	7	模擬国連	模擬国連立ち上げ
	8	模擬国連	各国リサーチ
9/10	9	模擬国連	ポジションペーパー作成
	10	模擬国連	ポジションペーパー完成
9/17	11	模擬国連	各国クローズ作成
	12	模擬国連	クローズ提出
10/8	13	模擬国連	地域討議
	14	模擬国連	地域討議
10/21	15	模擬国連	JICA関西・出前講座
	16	模擬国連	JICA関西・出前講座
10/29	17	模擬国連	第1回学年模擬国連
	18	模擬国連	第1回学年模擬国連
11/5	19	模擬国連	ワーキングペーパー確認会
11/19	20	模擬国連	第2回学年模擬国連
	21	模擬国連	第2回学年模擬国連
12/17	22	論文	論文書き方説明
	23	論文	内容あらすじ検討
	24	論文	内容あらすじ検討
2017/1/14	25	論文	輪読・ループリック評価
	26	論文	輪読・ループリック評価
1/21	27	論文	英語サマリー作成
	28	論文	英語サマリー作成
	29	論文	英語サマリー作成
2/4	30	論文	英語サマリー作成
	31	論文	英語サマリー完成
	32	論文	プレゼンテーション

○4/30・5/28 テーマ：平和「核軍縮交渉シミュレーション」

模擬国連を行うにあたり、昨年度に引き続き核軍縮交渉シミュレーションを行った。生徒を各クラス12のグループにわけ、架空の国という設定で、模擬国連風の交渉を行った。広島女学院高等学校の教材を教えていただき、時間数などにアレンジを加え、授業をさせていただいた。

12のグループにはそれぞれの立場と指令が配られ、自分たちが果たしたい目的が示される。それを利用し、交渉と作戦をたてて交渉していく。

クラスによっては、1国の力が強く、交渉をリードするところがあれば、同盟を組んで、交渉を行ったクラスもあった。

本年度は昨年度より1時間多く時間を取り、交渉がじっくりできるようにした。進行の様子などは昨年度報告書を参考にしてください。

○GRIT 用 PowerPoint : 核軍縮交渉シミュレーション (抜粋)

GRIT 平和Ⅱー①

核軍縮交渉シミュレーション

核軍縮交渉シミュレーション

- ・ 今日から核軍縮交渉シミュレーションを行います。
- このクラスは一つの「(地球ではないとある)世界」です！
- この「世界」には12の国が存在します。
- 今日12の国が集まって、核軍縮に関する会議が行われます。
- この会議で決まったことがこの「世界」の約束事になります。
- あなたは各国の「特命全権大使」です。みなさんの肩に自分の「国」の運命がかかっています！
- 自分の「国」の大統領からの指令をもとに、それぞれの「国」にとって有益になるように「核軍縮」会議の内容を交渉していきましょう。

目的

- ・ 多様化する世界でのコミュニケーション能力
- ・ 立場の違う国の主張に耳を傾ける
- ・ 自らの考え方を確固たるものにする
- ・ 目標の達成に粘り強く努力する力などを身に付けよう！

交渉について

- ・ 各国大統領からの指令がこのあとです
- ・ 指令には
 1. 「絶対に譲れないこと(妥協できないこと)」
 2. 「成功のために譲ってもいいこと(妥協できること)」
 がある。
- ・ 何を公表し、何を伝えるのか、逆に伝えないのかの判断が大切
- ・ 「交渉で達成したい目標・理想」
「交渉で絶対に譲れない最低ライン」の区別をつけよう

今回の議題となる条約

①. 核実験禁止条約
・ 成立条件: 核兵器保有国2か国 かつ 非核兵器保有国6か国の参加

② 核兵器拡散防止条約
・ 成立条件: 核兵器保有国2か国 を含む: 9か国以上の参加

提案できる条約は以上2つのみ
細かな内容はそれぞれでしっかり読んで理解すること。アレンジすることは自由

出すべき成果

① 核実験禁止条約
② 核兵器拡散防止条約

の2つをなんらかの形で成立(あるいは成立阻止)という成果を残すこと。
→ 例: ①核実験禁止条約の成立は阻止しつつも、自国の利益(指令書)に準じて②核兵器拡散防止条約の成立を目指す。

交渉の進め方(ルール)

1. 各国に配られる指令書は他国に見せてはならない。
2. 核兵器を1000発以上保有している国は、「核兵器を保有している」ということを必ず公表すること
(交渉内容発表のときに公表する)
(保有数については、具体的に公表しなくてもよい)
3. 交渉中、うその情報を流すことは禁止する。

交渉ペーパー

- ・ 条約案を提案する際には「交渉ペーパー」に記入し国連事務局(先生)へ随時提出
- ・ 他国と共同で提出することも可能
- ・ 成立条件は、条約によって異なる
- ・ 各グループ1枚交渉ペーパーを配布
- ・ 4回の交渉のあと、5月28日のGRITで決議
 - 今日2回の交渉が行われます
 - 条件を記入したペーパーに基づいて、決議が行われます

作戦タイム

- ・ 他国の情報を聞いた結果、どの国と交渉するかを考えよう。
- ・ 交渉中に他国と共同提案をしてもかまいません。そのときは担任の先生に交渉ペーパーをもらい、書き直して、ホワイトボードにはってください。
- ・ チャイムまで
 - 休み時間中の交渉は禁止
 - 他国に指令を見られないように心がけよう

第1回交渉(10分)

- ・ 交渉ペーパー(提示用)をホワイトボードにはった国から交渉スタート
 - ホワイトボードに提示していない国は他国との交渉ができません
- ・ 交渉の方法は自由！(ルール3つは守ること)

作戦会議→発表→作戦会議

- ・ 一度交渉をしてみて、うまくいったこと、いかなかったこと、交渉内容などを考えよう
- ・ 各グループ1枚交渉ペーパーを配布
- ・ 交渉内容を再検討してください。変更してもしなくてもかまいません
 - 交渉中に変更してもかまいません
- ・ 交渉内容をこのあと発表します。
 - 変更しない国は「変更ありません」でかまいません
 - 他国と共同提案の場合は100国と共同で、こういう提案をしますと説明してください。

振り返りシート記入

- ・ GRIT時間以外の交渉禁止
- ・ 他国に指令書が見られないように保管すること
- ・ 次回 5月28日 いよいよ決議！
- ・ 残る交渉は2回！！

核軍縮交渉シミュレーション

- 今日はいいよ決議です。
残り2回で交渉をまとめて、この会議を成功させよう！
ーこの会議で決まったことがこの「世界」の約束事になります。
ーあなたは各国の「特命全権大使」です。みなさんの肩に自分の「国」の運命がかかっています！
- ルール
 - 各国に配られる指令書は他国に見せてはならない。
 - 核兵器を1000発以上保有している国は、「核兵器を保有している」ということを必ず公表すること
 - 交渉中、うその情報を流すことは禁止する。

決議について

①、核実験禁止条約
成立条件:核兵器保有国2か国 かつ 非核兵器保有国6か国の参加

②、核兵器拡散防止条約
成立条件:核兵器保有国2か国 を含む 9か国以上の参加

- 決議は①・②、それぞれの賛成・反対を確認します。
- もし、付帯事項(〇〇での実験はしない)などの内容があれば、他国との認識の共有をしておいてください。
- 条約の付帯事項が2種類以上になった場合は、いずれかの案に賛成、もしくはどちらも反対で決議を行います。
ex: A案、B案、反対 のどれか、「A案も賛成 B案も賛成」はなしなので、あらかじめ交渉でまとめておきましょう。

前回の振り返り・作戦会議

- 作戦会議中の交渉禁止
- 条約案を提案する際には「交渉ペーパー」に記入し国連事務局(先生)へ随時提出
- 他国と共同で提出することも可能
- 成立条件は、条約によって異なる
- まずは、各グループに1枚交渉ペーパーを配布します
- 今日は2回(10分ずつ)の交渉のあと、決議を行います

最終交渉(10分)

- 交渉の方法は自由！(ルール3つは守ること)
- 最後の交渉時間
- ①、核実験禁止条約
成立条件:核兵器保有国2か国 かつ 非核兵器保有国6か国の参加
- ②、核兵器拡散防止条約
成立条件:核兵器保有国2か国 を含む 9か国以上の参加

それぞれの条約について付帯事項を確認してまとめよう。

決議①: 核実験禁止条約

成立条件:核兵器保有国2か国 を含む 9か国以上の参加

- 付帯事項を聞きます。案がある国は発表してください。
- 付帯事項なしの案に賛成したい国がいるかを聞きます。
- 各国賛否をのべてください。
「A案に賛成」「反対」など
複数案(付帯事項が数種類の)が提出されているときは、どれか1つに賛成もしくはすべて反対のどちらかをのべてください。
- 核兵器保有国、非核兵器保有国の確認をします。

決議②: 核兵器拡散防止条約

成立条件:
核兵器保有国2か国 かつ 非核兵器保有国6か国の参加

- 付帯事項を聞きます。案がある国は発表してください。
- 付帯事項なしの案に賛成したい国がいるかを聞きます。
- 各国賛否をのべてください。
「A案に賛成」「反対」など
複数案(付帯事項が数種類の)が提出されているときは、どれか1つに賛成もしくはすべて反対のどちらかをのべてください。
- 核兵器保有国、非核兵器保有国の確認をします。

結果

- 各国の状況を確認するシートを配ります。
- 実は他国はこういう条件で交渉していました。
- 各国に一度、条件をもう少し細かく発表してもらい、達成できたかも発表してもらいましょう。
- そして、実はこの国たちにはモデルとなる国があります。
ーただし、本当の国とは状況が違います。あくまで仮想の内容です。
- みなさんがつくりあげた世界はどんな世界になりましたか？
ー核軍縮交渉が進みましたか？
ー核保有国は今より増えてはいませんか？
ー一番交渉が大変な国になったのが・・・
ー「どこの国」でした！お疲れ様でした。
- ー他の国も頑張って交渉お疲れ様でした(拍手)
- 振り返りシートを書いてください。

ところで

- 核拡散防止条約(NPT)再検討会議が行われました。
ーしかし、最終文書を採択できず決裂、閉幕しました。
ーそのときのニュース記事を配るので、読んでみてください。
ーこのニュースを知っていましたか？そして、どう思いますか？
- 夏休み前のGRITから今度は実際に調べて、模擬国連を行います。
- 平和に叶うてできること
ー未来対話「平和のためにできること」、平和提言を読んでみましょう。

○模擬国連（流れ）

テーマ：「飢餓の終息に向けた農業分野での国際協力」

6月25日（土）

国連についての説明（TV放送で模擬国連部によるガイダンス）

- ・模擬国連の説明（20分）
- ・模擬国連世界大会出場報告（15分）
- ・今回の模擬国連のテーマについての説明

『飢餓の終息に向けた農業分野での国際協力』（15分）

7月19日（土）

立ち上げ作業

- ① グループ決め、国割り、
- ② ポジションペーパー配布、各国のリサーチ

9月10日（土）

ポジションペーパー完成

- ・ 自国の基本状況、議題における自国の現状を認識

9月17日（土）

各国クローズ（3つ程度）を提出

- ・ 議題における自国の現状を認識
- ・ 世界における自国の関わり方を確認

10月8日（土）

地域討議（各クラス、それぞれの地域ごとに国を振り分けている）

- ・ 自国の地域の問題を近隣諸国と討議
- ・ 自国のある地域の問題を確認し、改めて、自国のクローズ（1つ程度に絞る）を検討

10月21日（金）

JICA 関西・出前講座（講師の先生方にアドバイスをいただく）

- ・ 各講師の先生方によるプレゼン
- ・ 代表生徒による地域ごとの課題をまとめたプレゼン
- ・ 自国のクローズを再検討（講師の先生方にアドバイスをいただく）

10月29日

第1回 学年模擬国連

- ・ 各地域の現状をプレゼン
- ・ ワーキングペーパーの作成

11月5日

学年模擬国連を経て、WPに自国クローズをどう組み込むかを検討

- ・ ワーキングペーパーの確認（各WPごとに集まり検討）
- ・ 第2回学年模擬国連での自国の作戦会議

11月19日

第2回 学年模擬国連

- ・ ワーキングペーパーの討議
- ・ 学年模擬国連として決議

○担当国一覧

	1組	2組	3組	4組
	南米	西アジア	東・東南アジア	北中米
1	ブラジル	サウジアラビア	日本	アメリカ
2	アルゼンチン	イスラエル	中国	カナダ
3	コロンビア	カタール	韓国	メキシコ
4	エクアドル	ヨルダン	モンゴル	コスタリカ
5	パラグアイ	シリア	インドネシア	ジャマイカ
6	ウルグアイ	アゼルバイジャン	インド	ハイチ
7	ペルー	トルコ	タイ	キューバ
8	チリ	イラク	ベトナム	パナマ
9	ボリビア	イラン	シンガポール	ホンジュラス
10	ベネズエラ	アラブ首長国連邦	ミャンマー	グアテマラ
11	ガイアナ	バーレーン	パキスタン	ニカラグア
12		レバノン	マレーシア	ドミニカ共和国
	11ヶ国	12ヶ国	12ヶ国	12ヶ国

	5組	6組	7組	8組
	東欧	西欧	アフリカ	オセアニア
1	ブルガリア	イギリス	ケニア	オーストラリア
2	チェコ	フランス	タンザニア	ニュージーランド
3	ハンガリー	スペイン	ルワンダ	フィジー
4	ポーランド	イタリア	南アフリカ	サモア
5	ロシア	ドイツ	ナミビア	バヌアツ
6	ルーマニア	オーストリア	ギニア	キリバス
7	ウクライナ	ギリシャ	セネガル	パプアニューギニア
8	スロバキア	ベルギー	シエラレオネ	ミクロネシア連邦
9	セルビア	オランダ	ナイジェリア	トンガ
10	モンテネグロ	スウェーデン	エジプト	
11	ラトビア	デンマーク	カメルーン	
12	エストニア	ノルウェー	ザンビア	
	12ヶ国	12ヶ国	12ヶ国	9ヶ国

学年合計・・・92ヶ国!!! 92ヶ国で模擬国連を、大々的に開催します(^^)／

○（配布資料）模擬国連の用語

○アウトオブアジェンダ（Out of Agenda）

議題との関連性が薄く、今会議では話すことが不適切と判断されるもの。

不適切だと判断された場合には、その内容を議場で話し合うことはできなくなり、決議案からも削除される。

○アmend（Amendment）

修正案。決議案が公式になった後、提出期限までに各国大使と交渉しあい、決議案の文言に変更・削除を加えたものを言う。アmendには提案国すべての支持を得た「友好修正案」と全提案国の支持を得ていない「非友好修正案」の2種類が存在する。

○棄権（Abstention）

投票行動の一つ。「賛成」にも「反対」にもカウントされない。

○議長（Chairperson）

議場の議事進行を司る。全体会議の間では、議長の指名がなければ発言することはできない。また、円滑に会議が進行できないと議長が判断した際に行使される権限を「議長裁量」と呼ぶ。

○グループ

会議で複数の国によって構成される集団。政策の似た国々が作る政策グループ、所属する地域機構が同じ国々や同じ地域の国々が作る地域グループ（←クラス）などが主。

○クローズ

決議案に含まれる個別の条項のこと。

関連する幾つかのクローズをまとめて「決議案」が作られる。

○決議案（Draft Resolution）

各国大使の主張を文言化して記載したもの。これを基にアmend（修正案）交渉などが行なわれる。

○公式討議（Formal Debate）

議長が議事進行を行ない、各国大使がスピーチを行なう。発言は発言録に記録され、国際世論に公表される。

○コーカス（Caucus）

会合の一時停止の動議によって行なわれる休憩時間のこと。すべての大使はこの間席を立て移動し、自由に話をするができる。→非公式討議を行ってもよい。

○コンセンサス（Consensus Adoption）

無投票採択。積極的反対がない場合にのみ用いられる採択方法。法的拘束力はないが反対の立場を明確にしていなかったため、道義的拘束力が強い。

○コンバイン（Combine）

2つ以上の決議案を交渉の結果1つにまとめること。

○シグナトリー（Signatory）

署名国のこと。スポンサーとは異なり、決

議案に記載された文言に対して説明責任を負わない。

○スピーカーズ・リスト (Speakers' List)

発言者名簿のこと。議長が募集をかけ、これの則った順に公式スピーチを行なう。

○スポンサー (Sponsor)

決議案の提案国。決議案に記載された文言に対して説明責任を負う。

○動議 (Motion/Point)

文言提出、会議の停止・終了など、会議中の議事進行に伴い各国大使が挙げる提案。

今回の模擬国連では、動議は採用していない。

○非公式討議 (Informal Debate)

各国大使が着席し、議事進行を議長、もしくはインフォーマル動議を挙げた国に任せ、交渉や全体での話し合いがなされる。

○モデレート (Moderated Caucus)

会議を停止させた上で、コーカスの時間中に非公式討議の形態で行われる個別交渉。

○文言 (Tenor)

各国大使の主張を反映した文章を指す。前文と主文から構成される。

○ワーキングペーパー (Working Paper)

各国大使が自国の主張を記述し、議場に公表するもの。決議案の原案となるもの。

○（配布資料）リサーチとは

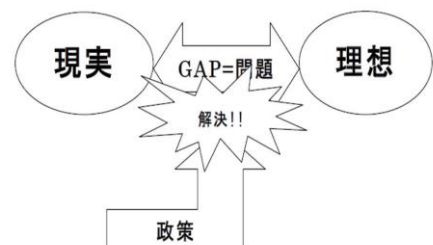
大使となったみなさんは、これから会議までの間に会議に向けた準備をすることになると思います。その準備を模擬国連では「リサーチ」と呼びます。そこで今回は、リサーチを進める上での前提や、そもそもリサーチとは何なのか、何を目的とすればよいのかということを説明したいと思います。

【リサーチの目的】

「担当国の理想と現実のギャップを認識し、ギャップを埋める方法とその理由を明確にすること」、これがリサーチの目的です。

「担当国の理想」とは、議題について担当国が最も望む状況です。国の立場によって、同じ議題であっても望む状況は異なります。

担当国の理想と現実が明らかになります。すると、理想と現実のギャップが明らかになります。このギャップを埋めるための方法（政策）を実現するために、会議では行動します。ギャップを埋めるための方法を実現するには、方法とその方法を行なう理由を明確にすることが必要です。



【リサーチの5段階】

リサーチには大きく以下の5つのステップがあります。以下に挙げた方法がすべてではありません。必ず上から順番にやっていく必要もありません。あくまでも一例として考えていただければと思います。

1. 国を知る

国に関する情報としては、場所や人口といった基礎的な情報や、国連決議に対する投票行動、国連への拠出金負担額やPKO 要員の派遣状況などの議題に関する情報があります。

2. 議題を知る

議題を知ることとは、担当国に利害があつてより深く調べたいところが出てくると思います。その際には、議題概説書の巻末にある参考文献リストなどを参照しながら、本やウェブサイトで調べてみるとよいでしょう。また、議題に対する過去の国連における話し合いを調べることも重要です³。国連の会議は基本的に1度だけではなく、過去の話し合いを踏まえて継続的に審議が行われます。従って過去の議論でどこまで話し合いがなされて決定したのかを知ること、議題に対する国連の取り組みの現実を知ることができます。

3. 政策立案

担当国における理想と現実のギャップを埋めるための方法が政策立案です。最初は大まかなものしか思い

つかないかもしれません。しかし、政策の理由を考えていくうちに徐々に具体的になることもあります。従って、まずは大枠だけでも考えて、理由付けを考えながら具体的にしていくように意識して下さい。

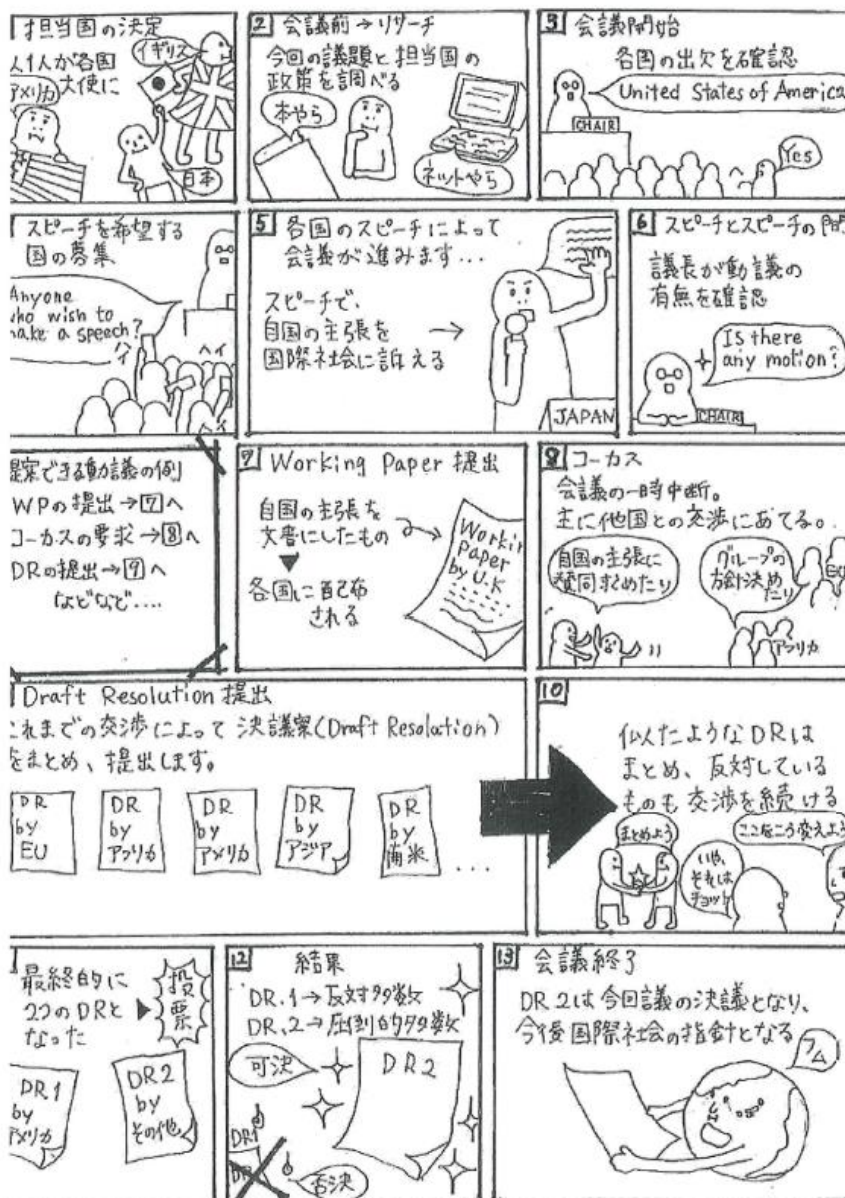
4. 政策立案の理由付け

政策を考えたら、他国になぜその政策を行なうかを説明するための理由を考えます。しっかりとした政策の理由がないと他国を説得することができません。他国を説得することができなければ、その政策が載った決議は採択されません。採択されないと、その政策は実行に移されることはありません。また、採択されるときも多くの国の賛成を得られれば、より政策の実効性が増します。他国を説得する際には、政策の必要性だけでなく、自国の政策が他国にとっても利益になることが明確にできればより望ましいです。

5. 他国を知る

余裕があれば他の国の状況も自国と同様に調べてもよいでしょう。しかし、時間的にすべての国を調べることは難しいです。従って、例えば自国の主張と真っ向から対立する国や、逆に自国と状況が似ていて協調できそうな国に絞って調べておくことが考えられます。

○（配布資料）模擬国連の流れ説明



Position Paper

国名：

国旗

メンバー：

1. 自国の基本情報

首都	
人口	
政治体制	
政治中心者	
気候	
主な宗教	
言語	
内政状況	
所属する国際 地域機構	
1人当たりの GDP	
貧困率	

主要産業	
主要貿易物	（輸入）
	（輸出）
主要貿易相手国	
平均年収 （ドル換算）	
援助を受けている またはしている 主要相手国	
基本的な外交方針	

農業従事者人口	（ %）
主要農作物	
食料自給率	
穀物生産量	
主な輸入食物	
主な輸出食物	
主食	
飢餓人口	
栄養不足人口	
栄養不足蔓延率	
5歳未満児死亡率	
1日の食料消費量	
肥満率	
肥満人口	

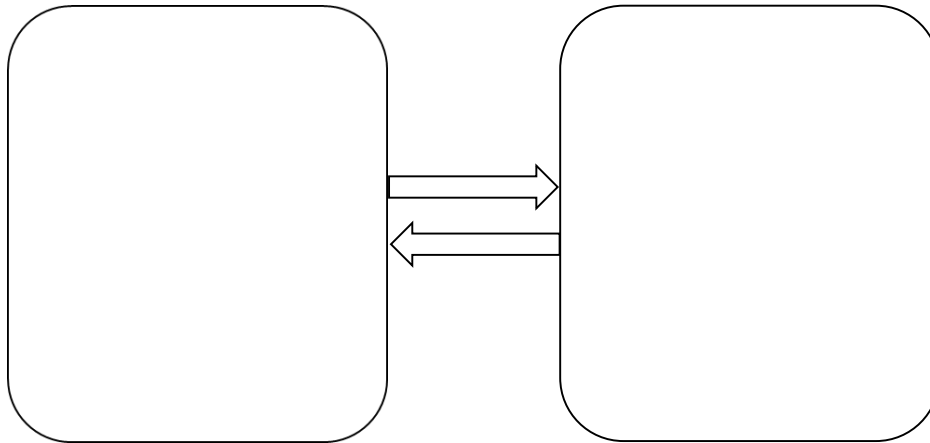
自国周辺略地図

リサーチして感じたこと

2. 条文づくり

☆自国が抱える問題点(現状)

☆自国の今後の方向性(理想)



☆現状と理想との間を埋めるための解決策

A large, empty rounded rectangular box intended for writing solutions to bridge the gap between the current state and the ideal.

☆解決策を基にした条文(3 個以上)

A large, empty rounded rectangular box intended for writing articles based on the solutions, with a requirement of at least three articles.

○ 国連総会 1 日目の流れ

【国連総会 1 日目を迎えるまでの状況】

- ・地域別クローズ案が完成している。
- ・地域別クローズに含まれているいないにかかわらず、自国として実現させたい最終クローズ案が 1 つ決定している。

【国連総会 1 日目の目標】

- ・各地域クローズを出発点として、ワーキングペーパー (WP) を完成させ、これを提出すること。

<ワーキングペーパーとは>

- ・国連総会 2 日目に採決にかかる決議案の原案のこと。
- ・各国大使が自国の主張に関しての意見を記述し、議場に公表するもの。
- ・互いに矛盾しない複数のクローズ（条文）を含み、議題を包括的に解決に導くことのできる総合的な対策案となっているもの。

＜ワーキングペーパーの提出条件＞

- ・地域にかかわらず 18 カ国以上がスポンサー（共同提案国）となっていること。
- ・1つの国は、いずれか1つの WP のスポンサーにしかねない。

＜ワーキングペーパー提出までの流れ＞

- ・トレニア 2 台の上に MacBook を 6 台配置したワーキングブースを、8 カ所設置する。
- ・WP 提出を目指すグループは、議長団に申請してワーキングブースを 1 つ借りる。
- ・Google ドキュメント文書として WP の作成を開始。（まずはサマリーから）
- ・WP の冒頭部分に、その時点でスポンサーになっている国のリストを明記する。
- ・WP のサマリーを iPad で提示しながら交渉を進め、スポンサー国を集める。
- ・スポンサー国の大使を、WP ドキュメントの共同編集者として招待する。
- ・WP 提出締め切りまでに、スポンサー各国の大使と協議しながらサマリーを具体的な条文としてまとめていく。
- ・WP 条文化の過程で、当初のスポンサー国が抜けて他の WP グループに移動することも可。脱退する国は、その旨を WP グループの中心国大使に宣言し、WP のスポンサーリストから外してもらうこと。
- ・WP 作成途中で、スポンサーが集まりそうにないグループは、WP 提出を断念してもよい。
その時点でワーキングブースを離れ、議長団にグループの解散を宣言する。
また、所属していた各国は、自国の判断に基づき、他グループとの交渉を開始できる。
 - ・できあがった WP は、スポンサーリストに 18 カ国以上あることを確認した上で、全体で共有される Google ドライブ上にアップし、公開する。
 - ・WP のドキュメントが公開された時点をもって、WP の提出とみなす。

【Time Schedule】

- 10:00～ 2、7 組移動開始 ※各国は、待ち時間を使って最終打ち合わせを行っておくこと
- 10:05～ 3、6 組移動開始
- 10:10～ 4、5 組移動開始
- 10:15～ 1、8 組移動開始
- ～10:30 集合完了
- 10:30～11:10 地域クローズ基調講演（各地域 5 分以内）
- 11:10～11:20 休憩（講堂内）
- 11:20～11:30 会議の進め方の確認
- 11:30～11:35 会議の開会宣言、出席確認（ロールコール）
- 11:35～12:30 討議（非公式討議＝ロビー活動）開始
- 12:30～12:40 ワーキングペーパー提出締切、提出された WP の確認・タイトル読み上げ、
会議の閉会宣言

○各国クローズ例

ブラジル

アマゾンの熱帯雨林などが森林伐採により減少し、世界的な気候変動の恐れがあるので、農業が可能な環境を守るため、先進国はアマゾン保護に全面的に協力する。

アルゼンチン

灌漑・焼畑などの地力が低下する農業方法の横行が問題になっており、安定した食糧生産・輸出が困難になるので、持続可能な農業を普及するため、先進国は途上国に関連の技術を提供、経済援助をする。

コロンビア 生産した作物を流通するルートが存在せず、食糧を供給が難しい地域が数多く存在するので、農業関連の流通を円滑にするため、その地域に先進国はインフラ開発に協力する。

○Working Paper 各国クローズ例

Working Paper -B-

Sponsor: Azerbaijan Republic / Republic of Korea / Socialist Republic of Viet Nam / Federated States of Micronesia / Republic of Honduras / Republic of the Fiji Islands / Kingdom of Norway / Kingdom of Saudi Arabia / Republic of Haiti / Republic of Guatemala / New Zealand / Independent State of Samoa / Republic of Vanuatu / United Kingdom / Islamic Republic of Iran / Republic of Lebanon / Republic of Nicaragua / Republic of Bulgaria / Czech Republic / Hashemite Kingdom of Jordan/Panama/Spain/Romania/Indonesia /Thailand / Romania / /Montenegro /Ratbia/ India/ Israel Republic of India State of Eritrea State of Israel Dominican Republic Greece French Republic Republic of Austria Germany Malaysia Estonia

1,発展途上国が発達した農業技術を自国の農業に取り入れて、生産能力を向上させることにより貧困率を減少させるためにFAOと各国が協力し、またFAOの働きを強化して技術交流の効率化を図る仕組み(機関)を導入する

(Republic of Korea Socialist Republic of Viet Nam Federated States of Micronesia Kingdom of Saudi Republic of Australia Kingdom of Norway Republic of the Fiji Islands Independent state of Samoa Republic of Haiti Republic of Honduras Republic of Guatemala Azerbaijan Republic New Zealand United Kingdom Islamic Republic of Iran Republic of Austria)

2,小規模農家が自立して利益を生み出していけるように小規模農家の協力体制を作ること推進する、小規模農家同士で集まり、その自国の土地にあった作物を作り、他国と共有することによって利益を生み出す。

(Republic of Bulgaria Czech Republic Romania)

3,世界的に増加している耕作放棄地を有効活用するため、国際的に統一された農地貸借のシステムを

つくる

(Republic of Lebanon)

4,主に若年層・難民をターゲットとして農業教育の拡充を図り、農業従事者の増加を促進、援助することを推進する

(Republic of Vanuatu Hashemite Kingdom of Jordan Republic of the Fiji Islands)

5,包括的に食糧問題を解決していくための世界食糧安全保障サミットの年一回開催を提案する

(Republic of Nicaragua)

○（配布資料）Working Paper 検討シート（一部）

グループ	クローズ	賛成	条件付き賛成	反対
WP-A	1 世界中の技術(土壌、穀物に関する)を専門の機関に集めて商品化し、それを技術を求める国に売る。また、そこで得た利益の一部を技術提供国に戻す。また、その専門の機関で技術を新たに開発する。それをまた同様に商品化する。			
	2 もっと便利な海上輸送手段を作るため各国が話し合う。			
	3 農業従事者の拡大と技術者の育成への協力。			
	4 食料自給率の向上を目指し、アジア諸国の相互発展に貢献する組合を結成する。(農業また農業関連分野における地域に提供することにより、その代わりに資源の見返りしても良い。さらに農業技術の豊富な地域にも技術提供してもらい、中東地域の協力をはかる。)			
	5 難民を受け入れてもらう代わりに金銭的・技術的に支援を行う。			

グループ	クローズ	賛成	条件付き賛成	反対
WP-B	1 発展途上国が発達した農業技術を自国の農業に取り入れて、生産能力を向上させることにより貧困率を減少させるためにFAOと各国が協力し、またFAOの働きを強化して技術交流の効率化を図る仕組みを導入する。			
	2 小規模農家が自立して利益を生み出していけるように小規模農家の協力体制を作ることを推進する。			
	3 世界的に増加している耕作放棄地を有効活用するため、国際的に統一された農地貸借のシステムをつくる。			
	4 主に若年層をターゲットとして農業教育の拡充を図り、農業従事者の増加を促進、援助することを推進する。			
	5 包括的に食糧問題を解決していくための世界食糧安全保障サミットの年一回開催を提案する。			

当日までに、しておくこと

- ① 最終WPIに自国のクローズが間違いなく文面化されているかを確認する。
- ② 各WPにあるクローズ1つ毎に、自国としての態度を決めておく。(該当欄に○をつける)
WPが決議案となり本会議で採択されると、その中にある全ての条項について承諾したことになります。
→「条件付き賛成」の場合、その条項の著作権国をグループリーダーに確認して、修正の交渉をおこなう。
→「反対」の場合、削除できないかの交渉をおこなう or 成立阻止のため反対国を集める、をおこなう。
- ③ グループごとに集まって、新たにコンパインされてできたクローズへの理解を深めておく。
他グループのWPを見た感想を共有し、自グループ内での役割分担を決めておく。
→自国の決議案を完成させるチーム
→他国の決議案を研究し修正の交渉をおこなうチーム
→自WPの決議案を他WPグループに賛成してもらえよう、他グループの各国大使の所へ交渉に行くチーム
(情報をできるだけ集めるため、一つの国の中に異なるチームに所属するメンバーがいた方がいい)

○ 国連総会 2 日目の流れ

9 : 00～ 2,7 組移動開始

9 : 05～ 3,6 組移動開始

9 : 10～ 4,5 組移動開始

9 : 15～ 1,8 組移動開始

※待っている間に国ごとに他のグループの WP へのコメントを共有しておく

～9 : 30 集合完了（軽く休憩等もしておいてもらう）

9 : 30～

プロシージャール（会議の流れ）の確認、質疑

9 : 50～

グループごとに集まって新たにコンバインされてできたクローズへの理解を深めるとともに他のグループの WP を見た感想を共有、

グループ内での役割分担を決める（自国の決議案を完成させる、他国の決議案を理解し修正する、自分たちの WP の決議案内容他 WP グループに賛成してもらえよう、他グループの国の大使に交渉しに行くなど。一つの国の中にどちらもいたほうがいい）

←最終 WP に自国のクローズが間違いなく文面化されているかの確認。他グループの WP で賛同できないクローズをピックアップし妥協点を考える。なるべくみんなが納得できるものに。

10:20～ 休憩

10:30～ 校長先生のお話

10:35～ 前回のビデオ

10:40～ 会議の再開を宣言、出席確認（ロールコール）←正式名称でのロールコールにするためにわかるように徹底しておく

10:45～11 : 10 公式討議・非公式討議（着席）

2 グループの代表が公式討議として 3 分以内のプレゼン

5 分間の非公式討議（着席討議）

を 2 回繰り返す

←改めて他グループに対して WP のアピールをし、疑問点があればここで。

11 : 10～ コーカス（非着席討議）の開始 ←交渉重視

11 : 30～11 : 40 一度着席し、会議の進行状況を確認、国ごとに作戦会議

←外交した上での対立軸をグループで共有し作戦を練る。

11 : 40～ 非着席討議の再開←最高の WP 完成のため最後まで交渉を行う。全員合意での可決を目標に。

12 : 00 決議案提出締め切り

12 : 00～ グループの代表者が自分たちの決議案について 1 分 30 秒のスピーチ→投票

を 4 回、3/4 以上の賛成で決議案の可決

※決議した結果をまとめ、海外フィールドワークの際に、チョウドリ元国連事務次長の前でプレゼンをさせていただいた。

OSGH 報告会での生徒の発表 PowerPoint (抜粋)

関西創価高校 模擬国連

Jun. 2016~Nov. 2016



ポジションペーパー

リサーチの助けとなるもの
基本的な自国の情報を調べる
例) 食料自給率、主要産業、外交など

↓

自国の強み、また自国が抱える問題を知る
どうすれば解決できるか? 解決策を考える



模擬国連会議 1 日目

目標 ワーキングペーパー (仮決議案) の作成、及び提出

- 各クラスが、地域クローズをプレゼンする
- グループ形成
- Macを使用し、共有ドライブ内のワーキングペーパーのフォーマットをコピー
※地域クローズ、また地域クローズに入れられなかった自国のクローズを入れる
- 1.8か国以上のスポンサー(共同提案国)を得たワーキングペーパーは、議場に提出する**

模擬国連会議 1 日目に向けて

- 模擬国連の紹介
- グループ割
各クラスを地域ごとに割り振る
各クラス12グループ程度(12ヶ国)に分かれる
- 自国についてリサーチ
自国の基本情報、自国が抱える問題について調べる
- クローズ作り

クローズ (政策)

- 各国3個までクローズつくる
- 地域討議
 - 各国がクローズ紹介する
 - 質疑応答
 - 似ているクローズは合体させる
 - 8個までに絞り、地域クローズとする
- Google classroom** 内で、全クラスのクローズ閲覧可能
- 他のクラスの地域クローズを見て、自国の利益となるか、また協力できそうな国、対立しそうな国調べる

模擬国連会議 2 日目に向けて

- ワーキングペーパーに、自国のクローズが入っていることを確認
- ワーキングペーパー内でクローズを合体させ、6~8個のクローズまで絞る
- 他のグループのワーキングペーパーを**google classroom**内で見て、コメントを書きこむ
※他のワーキングペーパーの内容が自国にとって不利益となるか確認、質問等の準備

模擬国連会議 2 日目

目標 決議案を作り、可決する

- ワーキングペーパーを作成したグループ内で作戦会議
- 公式討議
- 着席討議(質疑応答)
- 非着席討議
- 決議案提出
- 投票 3/4以上の賛同国で可決**

関西創価高校のMUNを通して

世界で起こっている問題を、どうすれば解決できるのか?
クラス、また学年全体で、リサーチや議論

↓

多角的な視野に立ち、情報を発信する力
リーダーシップ
国際問題を身近なものとして捉えられる

○論文・英語サマリー

GRIT 学年模擬国連で学んだこと、調べたことについて自分自身のクローズ (提言) を考え論じた。論文のタイトルは「飢餓の終息に向けた農業分野での国際協力」である。冬休みの前にループリック表を用い、各国のグループ員と相談しながら、各自立案、構成を考える。それをふまえ、冬休みを使って、論文作成を行った。

説明の際には、「NHK 国語表現」「論文作成法」の動画を参考にし、模擬国連の国別のグループに分かれ、代表者が持参した Position Paper・国別クローズ案をもとに、手元の用紙に必要事項を書き

写した。「模擬国連決議」を見ながら、国ごとに決議を実現する上で必要となる国内政策などについて話し合っ、作成した。

さらに論文の英語でのサマリー（要約）を、英語の授業を使って作成した。

○論文用ルーブリック（抜粋）

■日本語論文作成(11/19～1/14)に対する評価の観点(事前確認用)

項目	不十分な状態(1点)	やや不十分な状態(2点)	やや満足のいく状態(3点)	満足のいく状態(4点)
資料収集	インターネット資料のみを活用している。	論文・書籍を資料として活用している。	複数の論文等を活用している。	複数論文の活用に加え、インタビュー等も行っている。
論文の量	1600字を大きく下回っている。	2000字を下回っている。	2000字以上2500字程度書いている。	2500字以上書いている。
言語表現	文体が整っていない。また、引用の仕方や参考文献の書き方が適正ではない。	文体がある程度整っている。また、引用の仕方や参考文献の書き方がほぼ適正である。	文体がほぼ整っており、内容にあった表現になっている。また、引用の仕方や参考文献の書き方が適正である。	文体が整っており、内容に合った効果的で正確な表現になっている。また、引用の仕方や参考文献の書き方も完全に適正である。
論文の型	型を理解せずに書いている。	「表紙」「目次」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、ある程度指定通りである。内容に応じた章立てや段落分けがなされていない。	「表紙」「目次」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、ほぼ指定通りである。内容に応じた章立てや段落分けがなされている。	「表紙」「目次」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、指定通りである。論理的な構成に応じた章立てや段落分けが適切になされている。
論文の質 (論理展開) ×2	単なる感想文や、調べ学習にとどまっている。	根拠が資料に基づいておらず、論理的でない論文になっている。反論への視点もない。	適切な資料に基づき根拠を、ある程度の考察のもとに取り入れていて、結論に至るまで論理的な論文になっている。反論への視点も意識されている。	適切で豊富な資料に基づき根拠を、十分な考察のもとに取り入れて、結論に至るまで論理的で説得力のある論文である。多角的な視点や反論への視点も意識されている。
論文の質 (状況改善への意欲) ×2	課題改善に関する記述がない。	課題改善のための先例を記している。	課題改善のために、オリジナルではないが説得力のある提案がなされている。	課題改善のために独自の提案がなされている。

6 GRIT 生徒アンケートより

○GRIT で学んだこと

- ・世界に視野を向けるようになった
- ・今、日本は平和かもしれないが、世界はまだまだ平和じゃないし、日本が平和でないとするという考え方もあるということ
- ・世界が平和であることのすごみを感じた
- ・自分とは違う意見を持っている人がいっぱいいて、それを受け止めあって実行していくと素敵な世界になるんだろうと思った
- ・日本の高校で学んでいる今の私たち自身も世界市民であるということ
- ・日本と世界のギャップがすごい
- ・世界の問題と言われて「戦争と平和」しか思い浮かばなかった自分が、開発や人権にも興味を持てるようになりました

- ・世界で起きている問題が今までは他人事のように思っているところがあったけれど、それを解決していかなくやならないのは私たちだと思うようになった
- ・入学前と現在では世界の問題に対する知識量の差が全然違い、将来世界の問題に少しでもかかわって改善していきたいと思いました。
- ・世界は広いけど、近くに感じていたい、感じないといけないのだと思った。同じ人間がという意味でも、利害という意味でも、外国の事情へと目を向けさせてもらった。
- ・自分たちにできることは何かを考えるようになった
- ・まだまだ世界中の人々が視野を広げ、人任せでなくみなでいい社会をつくりあげなければ

意味がないのだと思った。

○後輩へのアドバイス

- ・GRIT に関する本なんでもいいので一冊読んでほしい
- ・GRIT リーダーした方が成長できる
- ・あまり固いものにとらえず、楽しんで積極的に取り組んでほしい
- ・グローバルキャンプ行った方が絶対にいい
- ・GRIT リーダーをする友達が毎回変わると参加しやすい
- ・学園のなかにもいろんな考え方の人がいます。
- ・興味のないことでも耳を傾けて理解しようとすることで自身の成長につながる
- ・初めてのスタイルの授業だと思うので、初めはとまどうかもしれません。ですが、成長できるので積極的に参加してください。
- ・しっかりと考えていかないと理解できないです。
- ・ニュースを日ごろから見る方がいい
- ・わからなくても自分の意見を持つ
- ・あたえられてるだけではこなすだけになってしまう。自分で興味をもっていこう。

(2年生)

○大学教授からのアドバイスをまとめてください。

- ・実体験を紹介しよう
- ・アンケートの結果をのべるときは、まずは事実を伝えること
- ・さまざまな視点からみてみよう
- ・意見を押し付けない
- ・もっと詳細に調べる
- ・自分たちにできる対策を考えよう(具体的に・現実的に)
- ・身近な問題からきていることを考えよう
- ・スライド(原稿との関係・順序・見やすく・端的に・写真・グラフ)
- ・データ(新しさ・出所の明示、信頼性・的確さ・客観性)
- ・テーマとの関連あることを伝えるように

- ・相手をひきつけよう・面白み
- ・質問を想定しておこう
- ・なぜ?を考えよう
- ・テーマを決めた理由を明確にしよう
- ・焦点を明確にしよう
- ・対になる関係を考えよう
- ・世界に興味を
- ・参考文献(出所・真偽の確認)
- ・しゃべり方(視線・間・原稿を見ない・問いかけから入る・声の大きさ)
- ・初めての人にもわかるような説明
- ・意見と事実の分離
- ・対話以外にできること

○後輩にアドバイス

- ・①参考文献を必ず記入 ②相手(聞き手)の立場に立ってプレゼン作りを③良いプレゼンの技術はドンドン吸収して下さい。PowerPointは、文字と枚数は少なめの方が相手に伝わりやすいと思う
- ・あまり長く原稿を作ればいいというものでもない。
- ・いろんな視点から考えること。
- ・インタビュー等をすれば説得力などが増
- ・タイムマネジメントがんばろう。
- ・テーマ決めをしっかりしないと、ぶれてしまうので、一番始めの、テーマをしっかり考えたほうがいいと思う
- ・なるべく原稿を見ないで話せるととてもよいと思う
- ・ネットで調べた物を鵜呑みにしない
- ・プレゼン作成前に綿密に展開を練ること
- ・プレゼン発表にあたり、チーム全体で団結し協力・しあうことは大切だと思いました。
- ・マスコミ参考にしないでください
- ・まず最初に自分たちの伝えたいことを明確にしてから調べていく。
- ・やってるうちは大変なことの方が多く、めんどくさいと思うこともあると思うが、カッコつけずに必死でやれば、終わった後に自分の自信にもつながるので、しっかりと取り組んで

ほしい。

- ・やるなら徹底的にやる方が面白い！！
- ・一つ一つの調べることはなぜ調べているかなどが大事だと思った。
- ・何回も発表の場はあるから、いっぱい工夫して失敗とかも繰り返しながら改善していつてください！！
- ・協力して、難しく考えないこと
- ・根拠をはっきりと
- ・最終的にはプレゼンの表現力が一番大事だと思います。
- ・作業できる時間が少ないので、てきぱきするようにしてください
- ・自分が興味ないこと調べる方が面白い
- ・自分で自分の発表に質問して、足りないところがないか、本当に主張とまとめが繋がっているのかを最後まで調べていくといいと思います。「人の発表をしっかりと聞く」ことが大事だと思います。
- ・質問があるのでよく調べといた方がいい！
- ・出来たプレゼンを自分で見直して、少しでも疑問に思ったことは調べる。
- ・人に伝えるということを意識して頑張ってください
- ・世界の問題の説明より自分たちの考えを言うべき
- ・最後の方にやる気を出しても、時間がないから、やるなら初めから本気で！でも、やっけるうちに楽しくなっちゃうから、皆初めから本気で！"
- ・内容も大事かもやけど、できるだけ原稿みない、滑舌、声色とかのプレゼンテーションスキルがけっこう大事なと思う
- ・分かりにくいことを分かりにくく、真面目にプレゼンするのは誰でもできる。そこをどうやって相手が興味を持てるよう、プレゼンを進められるかが大事だと思う。世界のこととか大きな視点で見ることも大事だけど、身近なことでも他の人が思い付かないことを提示することで、おもしろくなると思う。
- ・聞いてて飽きない、魅力のある発表内容と発

表態度でプレゼンしてほしいです

(3年生)

○模擬国連のアドバイス

- ・1つの国に関して深く調べて学ぶと何かと自分のためになる
- ・頭を柔軟にして、自分と違う意見を一度受けいれたらよい案ができると思う
- ・下調べが大切、その国の問題点をグループでしっかり話し合おう
- ・自国だけでなく、周辺国も考えていくとたくさん意見が出せる
- ・相手のことを尊重しながら話をすると、うまくいくと思います。
- ・自国の意見を統一しておくことが大切
- ・わからないのは当たり前。「わからない」からやめてしまうのではなく、「もっと知りたい」に変えていくことが賢い。
- ・自国の状況を調べたあとに、自国の抱える課題が何なのかが特定・定義できるようになってほしい
- ・グループにいろんな人がいて、意見があわなかったり、やる気がない子がいたりしても、1人が真剣に頑張っていたら、周りも一緒になって考えてくれるようになるし、一生懸命な人に「ついていこう」と思ってもらえる
- ・その国のことを好きになってください
- ・たくさんアイデアが生まれ、決断力が問われる。2つ以上あわせるのか、切り捨てるのか、即決力が磨ける
- ・自分の意見をどれだけ明確に他の国に伝えられるか、自国によってよい方にできるように誘導していくかが大切
- ・あきらめず、絶対に自分と関係ない人と思わずに頑張してほしい。
- ・難しくても英語の文献も探そう。自分の国に誇りがもてるまで調べることが大切。
- ・とりあえずわからなければ、どこかの国と国の対話に入ってみる。そこから、自国ができること、すべきことが見えてくる。
- ・全体会前のエリアミーティング（根回し）が

大切。

○論文のアドバイス

- ・言いたいこと、自分が主張したいことをしっかり書いてほしい
- ・内容をあまり理解してないうえでまとめようとすると本当に大変
- ・論理的で現実的か考えよう
- ・まずは大まかな道筋をつくっておこう
- ・すべてのことに根拠が必要で、調べるほど自分の提言が間違ってると思うけど、しっかり意見を述べていってほしい。
- ・解決策を考えても、次に問題が出てきて、調べての繰り返しで難しい。具体的にイメージして書いていこう。
- ・根拠のないネットの情報はプレゼン等には絶対に使わないこと
- ・矛盾点がないように気をつけよう
- ・よく調べないと論文は書けないので、直前にやるのではなく、時間をかけてゆっくりとやろう
- ・まず、広い内容から入って考えること。そしてだんだん深い内容、自分の興味のあることに入っていくこと。
- ・論文作成自体初めてなので、間違いを恐れずに作っていこう。
- ・ただの感想文にならないようにしていこう

○後輩への全体的なアドバイス

- ・段々理解するのであきらめずにうけつづけてほしい
- ・GRIT で知って、少しでも興味をもったことは自分で調べる、本を読む。GRIT に感心をもてないのであれば、なぜなのか、自分にはどんなことが興味あるのかを考え、自分を見つめたり、積極的な友人に国際問題を学ぶきっかけを聞いたりしていってほしい。
- ・はじめて GRIT にとりかかったときは、ディスカッションやプレゼンでいやになったこともあった。でも、3年の今になって入学前とではだいぶ世界に目を向けられる自分になっ

た。

- ・GRIT は私たちがつくりだしていくプログラムです。どんどん積極的に。
- ・1つ1つの GRIT の時間が大切だったと思う。4つのテーマのどれかを見極めて、他のテーマとの関連性も考えよう。
- ・やる気は出そうと思えばいくらでも出せる。最初は難しくても、飛び込んでみれば意外にやりやすかったりする
- ・「なんで？」とか「どうせ私なんか」とか「GRIT 必要ない」とか思う前に、真剣に取り組んでほしい。自分の興味があることに気付くし、夢が広がる。
- ・GRIT をきっかけに自分の興味をもったものをどんどん調べてみてください。より楽しくなると思います。